

# 令和8年度 当初予算の概要



めがねのまちさばえ

Sabae Japan Eyeglasses

## 目 次

1	予算規模	1
2	持続可能な財政基盤の堅持	3
	（1）財政調整基金残高	
	（2）公共施設等整備基金残高	
	（3）一般会計の市債残高	
	（4）市債残高のうち実質的な負担額	
3	歳入のポイント	5
4	一般会計歳入予算の状況	6
5	歳出のポイント	11
	重点的施策	11
	公共施設の整備・長寿命化改修等	28
6	一般会計歳出予算の状況	31
7	令和8年度 鯖江市当初予算における基金現在高	39
8	令和8年度 鯖江市当初予算における市債現在高	40
9	令和8年度 鯖江市特別会計・企業会計の概要	41

## 一般会計の予算規模 370億9,500万円（前年度比8.2%増）

令和8年度においては、少子高齢化や人口減少、物価高騰といった国全体が直面している喫緊の課題に対応するため、重点施策として、ブランド戦略『つくる、さばえ』を軸とした「本市の魅力を高める施策」と「物価高騰対策」を柱に、市民の暮らしを守り、地域の活力を高める取り組みを推進します。

また、持続可能な社会の実現に向けて、「SDGsからウェルビーイングへ」と視点を深化させ、誰もが心豊かに暮らせるまちづくりを目指すとともに、「女性活躍から自分活躍へ」と発展させ、すべての市民が自分らしく活躍できる環境整備を進めます。

そして環境面においては、「ゼロカーボンシティ」の実現と「快適な暮らし」の両立を図り、持続可能な都市づくりを加速させます。

令和8年度は、こうした施策を通じて、「鯖江での暮らしは楽しい」「鯖江の未来は明るい」「鯖江で家族をつくりたい」と感じていただけるような希望と安心、ぬくもりに満ちたまちづくりに努めながら、「人口減少対策」や「移住定住促進」を図ってまいります。

ブランド戦略「つくる、さばえ」を軸にさばえの魅力を高める施策

## 「さばえで暮らす、幸福実感」

結婚・子育て支援

ウェルビーイング  
の推進

ふるさと教育  
の推進

ものづくりのまち  
の推進

交通環境・  
生活環境づくり

めがねのまち  
さばえの魅力発信

市民主役で日本一活気あるまち

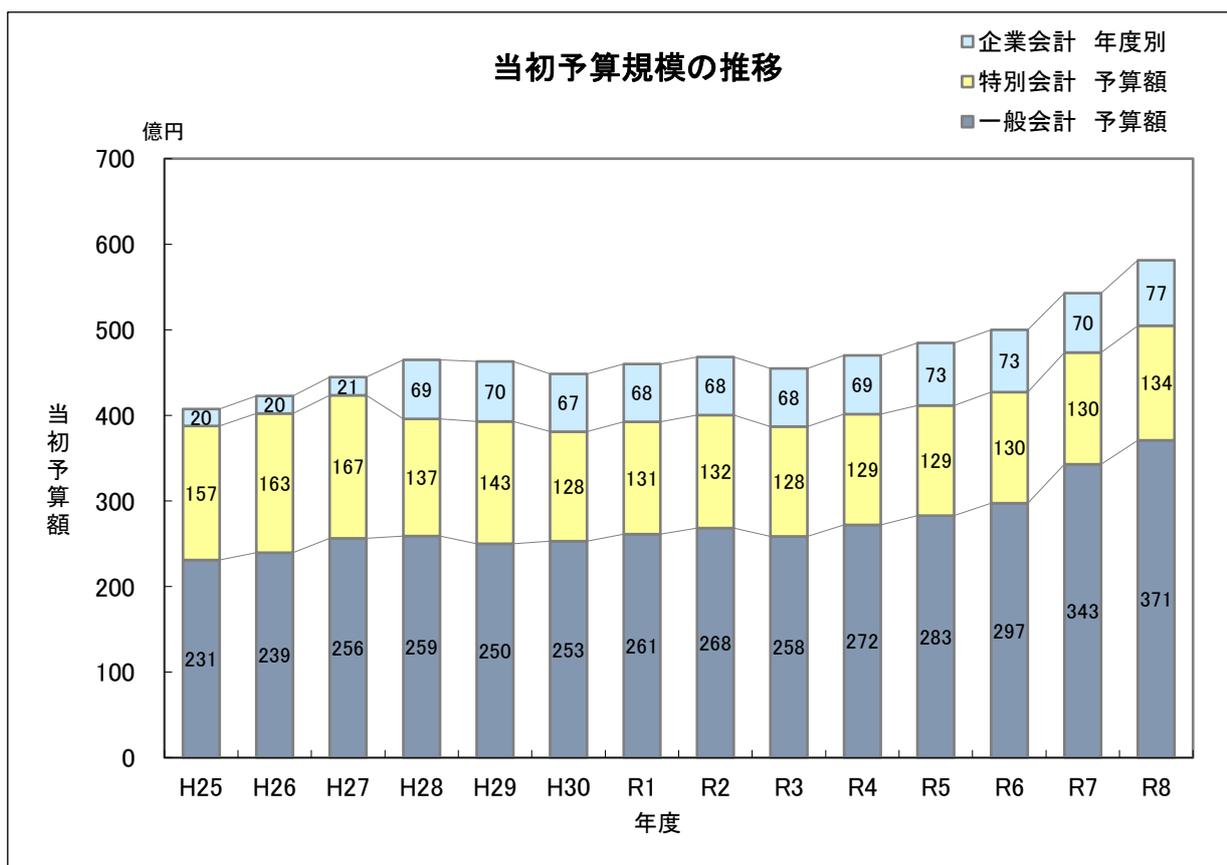
ワクワク子育て日本一のまち

また、引き続き「市民主役で日本一活気あるまち」および「ワクワク子育て日本一のまち」を目指すとともに、地域の課題解決のための事業をはじめ、総合戦略に掲げる基本目標それぞれの分野における基本的な施策にもしっかりと取り組みながら、「笑顔があふれるめがねのまちさばえ ～人が集い・輝き・挑戦するまち～」の実現を目指してまいります。

（単位：千円・％）

会計名	令和8年度 ①	令和7年度 ②	増減額 ③(①-②)	増減率 ③/②	
一般会計	37,095,000	34,297,000	2,798,000	8.2	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	5,683,000	5,682,000	1,000	0.0
	後期高齢者医療特別会計	1,333,000	1,088,000	245,000	22.5
	介護保険事業特別会計	6,370,000	6,261,200	108,800	1.7
	小計	13,386,000	13,031,200	354,800	2.7
企業会計	水道事業会計	2,326,300	2,232,200	94,100	4.2
	公共下水道事業会計	4,729,300	4,130,200	599,100	14.5
	農業集落排水事業会計	608,600	587,900	20,700	3.5
	小計	7,664,200	6,950,300	713,900	10.3
合計	58,145,200	54,278,500	3,866,700	7.1	

## (1) 全会計の予算規模の推移（当初予算ベース）



## (2) 一般会計の当初予算規模（令和8年度は過去最大）

1番	令和	8年度	370億9,500万円
2番	令和	7年度	342億9,700万円
3番	令和	6年度	297億3,000万円
4番	令和	5年度	282億8,000万円
5番	令和	4年度	272億2,000万円

## (3) 全会計の当初予算規模（令和8年度は過去最大）

1番	令和	8年度	581億4,520万円
2番	令和	7年度	542億7,840万円
3番	令和	6年度	499億9,080万円
4番	令和	5年度	484億6,520万円
5番	令和	4年度	470億1,480万円

## 未来を担う子どもたちに負担を残さないために

現在、鯖江市の財政健全化判断比率における**将来負担比率はマイナス値**であり、将来の世代への負担はない状態です。しかし、今後、超高齢化の更なる進行に伴う扶助費の増加や公共施設の老朽化に伴う長寿命化事業費の増大などに対応していくため、持続可能な財政基盤の堅持に努めてまいります。

## 1

## 財政調整基金残高

- 財政調整基金残高 38億2,540万円(当初予算時の令和8年度末残高見込)  
〈社会情勢の急激な変化や自然災害対応などの財政出動に備えます！〉

財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための積立金です。

近年では、新型コロナウイルス対策や物価高騰対策の財源として活用してきたように、引き続き、社会情勢の急激な変化、不測の自然災害時などに時機を逸することのなく的確に対応できるよう、決算剰余金を積み立てるなど、年度間の財源の不均衡を調整しながら、未来を担う子や孫に過大な負担を残さない適切な財政運営に努めてまいります。

## 2

## 公共施設等整備基金残高

- 公共施設等整備基金残高 12億5,091万円(当初予算時の令和8年度末残高見込)  
〈長期に渡り、安全・安心・快適な公共施設等の維持を図ります！〉

鯖江市の公共施設の多くは、昭和53年から61年頃をピークに建設されており、全体の6割以上が築30年以上を経過しています。「鯖江市公共施設等総合管理計画」によれば、今後40年間の更新費用については、適切な予防保全を実施した場合でも、建物施設で年平均21.5億円、インフラ施設で年平均21.1億円の費用が必要と試算されています。

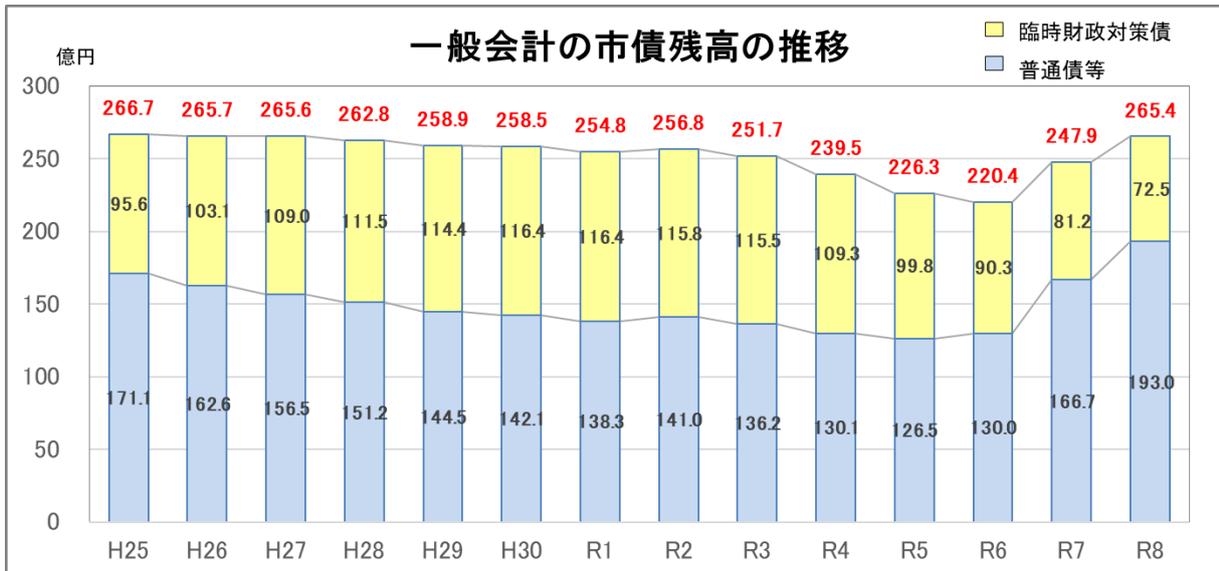
こうした将来的な更新需要の増大に備えるため、令和3年度に「公共施設等整備基金」を創設し、令和7年度末時点で15億9,031万円を確保しています。令和8年度は、複合交流施設や神明地区公立認定こども園の新設をはじめ、公共施設の長寿命化改修・大規模改修を予定していることから、これらの事業の一般財源相当分として、基金から3億4,000万円を取り崩す予定としています。

今後も、決算剰余金の積立や不用額の取り崩しの中止などにより、今後の長寿命化事業等の財源が不足することのないよう、財政運営の健全化に努めてまいります。

### 3 一般会計の市債残高

○一般会計市債残高 265億4,340万円(当初予算時の令和8年度末残高見込)  
 <公共施設の長寿命化事業の本格化に伴い、残高増となります>

これまで新規の市債発行額を抑制することで、元利償還金が100%交付税措置される臨時財政対策債を除いた市債(以下、「普通債」)の残高は着実に減少してきておりましたが、令和7年度からの公共施設の長寿命化事業の本格化に伴い、普通債残高は増加しています。



- \* 赤字の額は一般会計市債残高です。
- \* 四捨五入による端数処理のため、合計額が一致しない箇所があります。
- \* 令和6年度までは決算額、令和7年度は補正後の予算額、令和8年度は当初予算時の金額です。

### 4 市債残高のうち実質的な負担額

○市債残高のうち実質的な負担額は約36.3%(63.7%は交付税措置)

令和7年度末の市債残高見込額約247億9,161万円の内訳は、臨時財政対策債が約81億2,050万円、それ以外の普通債等が約166億7,111万円です。

臨時財政対策債は交付税の振替であるため後年度に100%普通交付税で措置されます。

また、普通債等も、事業費補正により後年度に交付税措置がある、いわゆる優良債を中心に借入を行っており、令和7年度末の市債残高見込額のうち市が自主財源で償還しなければならない実質的負担額は、全体の約36.3%、金額にして約89億円となります。

今後は普通債残高が増加する見込みであることから、優良債の積極的な活用と優良債以外の発行抑制に努めます。

### 3

## 歳入のポイント

### 歳入の確保に向けた重点的な取り組み

鯖江市が目指す、内外から「選ばれるまち」の実現に向けて、ふるさと納税制度を積極的に活用し、事業実施のための財源の確保に努めます。

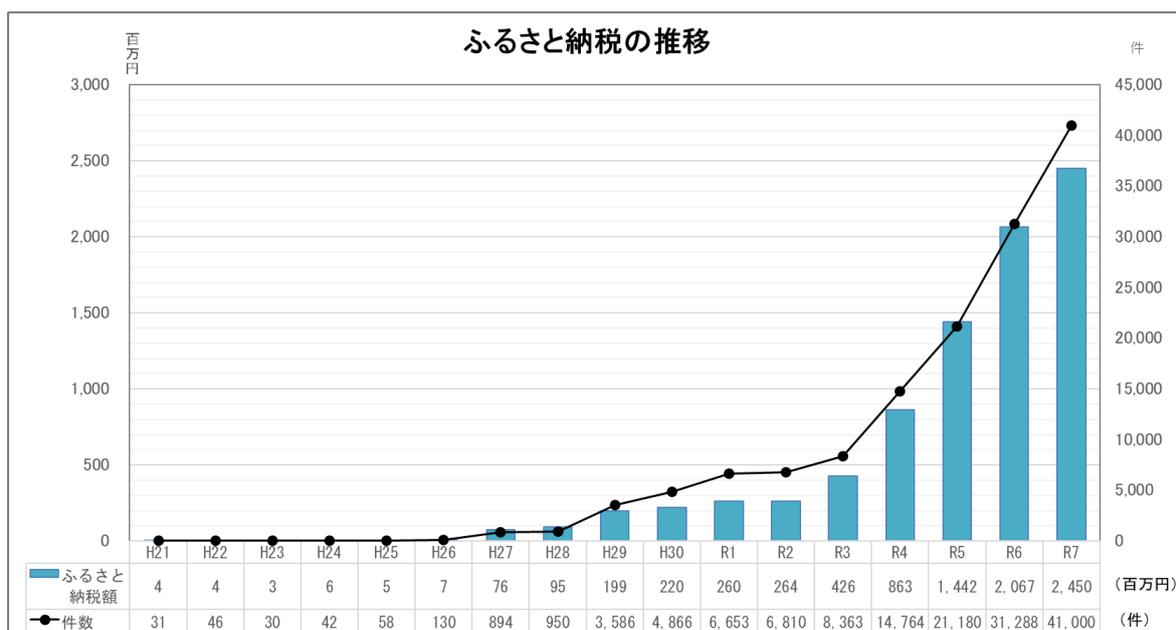
#### 1 ふるさと納税制度と本市の取り組み

ふるさと納税制度は、個人住民税の寄附金税制の拡充により平成20年から始まりました。この制度は、地方自治体に対する寄附額のうち2,000円を超える部分について、個人住民税所得割額の概ね2割を上限とする金額が所得税と合わせて控除されるものです。

鯖江市では、ふるさと納税が創設された目的である「都市部と地方との税収の格差是正」だけでなく、市内事業者の方々と協力し、特色ある地場産業を生かして、ふるさと納税を通じた新しいつながりを創出することを目指しております。また、鯖江市ふるさと納税ポータルサイトや、さばえふるさと納税紹介冊子を通じて、「さばえの魅力」を全国各地に広く発信しながら、本市へのふるさと納税を呼びかけています。

#### 2 本市のふるさと納税寄附金額の推移

令和7年度のふるさと納税寄附金は、令和8年1月末現在で、前年度を大きく上回っています。このことから令和7年度の寄附額・寄附件数は、前年度を上回る総額約24.5億円、約4.1万件を見込んでおり、令和8年度においても、令和7年度の当初予算である18億円を大きく上回る22億円を見込んでいます。



\* 令和7年度は、年度末の推計値です。

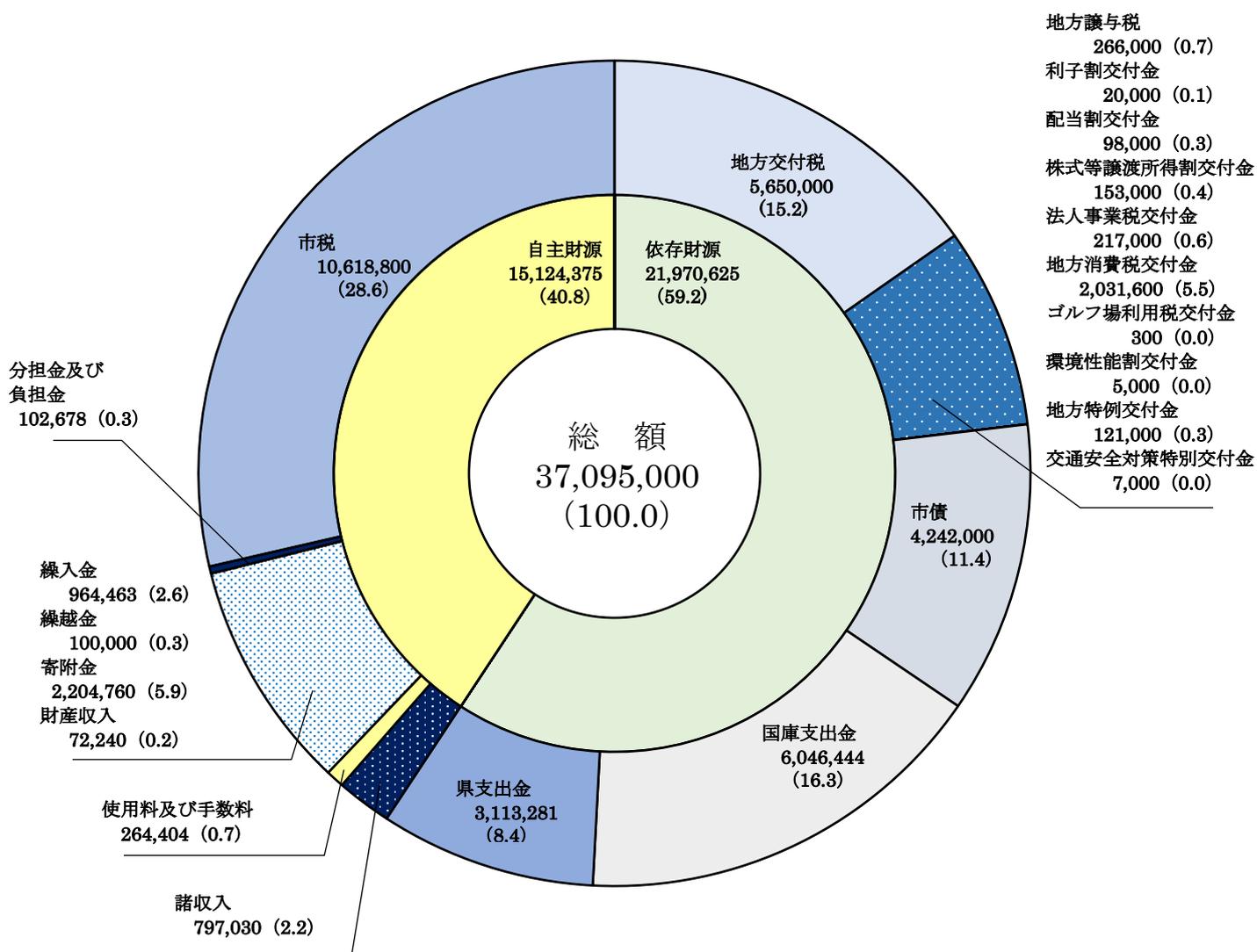
## (1) 歳入の内訳

(単位：千円・%)

区 分	令和8年度		令和7年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
市 税	10,618,800	28.6	10,549,000	30.8	69,800	0.7
地 方 譲 与 税	266,000	0.7	268,400	0.8	△2,400	△0.9
利 子 割 交 付 金	20,000	0.1	4,700	0.0	15,300	325.5
配 当 割 交 付 金	98,000	0.3	93,100	0.3	4,900	5.3
株式等譲渡所得割交付金	153,000	0.4	119,400	0.3	33,600	28.1
法 人 事 業 税 交 付 金	217,000	0.6	225,600	0.7	△8,600	△3.8
地 方 消 費 税 交 付 金	2,031,600	5.5	1,801,800	5.2	229,800	12.8
ゴルフ場利用税交付金	300	0.0	300	0.0	0	0.0
環 境 性 能 割 交 付 金	5,000	0.0	40,500	0.1	△35,500	△87.7
地 方 特 例 交 付 金	121,000	0.3	95,780	0.3	25,220	26.3
地 方 交 付 税	5,650,000	15.2	5,350,000	15.6	300,000	5.6
交通安全対策特別交付金	7,000	0.0	7,000	0.0	0	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	102,678	0.3	111,316	0.3	△8,638	△7.8
使 用 料 及 び 手 数 料	264,404	0.7	267,769	0.8	△3,365	△1.3
国 庫 支 出 金	6,046,444	16.3	5,943,067	17.3	103,377	1.7
県 支 出 金	3,113,281	8.4	2,908,339	8.5	204,942	7.0
財 産 収 入	72,240	0.2	62,416	0.2	9,824	15.7
寄 附 金	2,204,760	5.9	1,811,750	5.3	393,010	21.7
繰 入 金	964,463	2.6	585,260	1.7	379,203	64.8
繰 越 金	100,000	0.3	100,000	0.3	0	0.0
諸 収 入	797,030	2.2	799,303	2.3	△2,273	△0.3
市 債	4,242,000	11.4	3,152,200	9.2	1,089,800	34.6
合 計	37,095,000	100.0	34,297,000	100.0	2,798,000	8.2

## (2) 歳入予算款別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



## (3) 歳入の概要

自主財源は、繰入金、寄附金の増により、前年度当初予算と比較して8億3,756万円余、5.9%の増となり、自主財源が歳入に占める割合は40.8%となりました。

※自主財源：市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入で、市が自主的に徴収できる財源をいいます。

(単位：千円・%)

区分	令和8年度 (A)		令和7年度 (B)		比較 (A) - (B)	増減率
	当初予算額	全歳入 構成比	当初予算額	全歳入 構成比		
1 市税	10,618,800	28.6	10,549,000	30.8	69,800	0.7
2 繰入金	964,463	2.6	585,260	1.7	379,203	64.8
3 諸収入	797,030	2.2	799,303	2.3	△2,273	△0.3
4 その他	2,744,082	7.4	2,353,251	6.9	390,831	16.6
自主財源計	15,124,375	40.8	14,286,814	41.7	837,561	5.9

## (4) 市 税

経済は緩やかに回復しており、雇用・所得環境が改善する下で、個人市民税を前年度当初予算比で4.3%の増加を見込むほか、固定資産税を前年度当初予算比で1.6%の増加で見込みました。一方、法人市民税は、仕入れコストや人件費、物流費などの上昇から、前年度当初予算比で18.2%の減少で見込みました。

(単位：千円・%)

区分		令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
個人市民税	現年課税分	4,180,000	4,002,000	178,000	4.4
	滞納繰越分	36,000	39,000	△3,000	△7.7
	計	4,216,000	4,041,000	175,000	4.3
法人市民税	現年課税分	795,000	972,000	△177,000	△18.2
	滞納繰越分	1,500	1,900	△400	△21.1
	計	796,500	973,900	△177,400	△18.2
固定資産税	土地(現年課税分)	1,262,000	1,265,000	△3,000	△0.2
	家屋(現年課税分)	2,300,000	2,209,000	91,000	4.1
	償却資産(現年課税分)	653,000	668,000	△15,000	△2.2
	その他(現年課税分)	8,500	9,000	△500	△5.6
	現年課税分小計	4,223,500	4,151,000	72,500	1.7
	滞納繰越分	52,000	57,000	△5,000	△8.8
	計	4,275,500	4,208,000	67,500	1.6
軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税		1,330,800	1,326,100	4,700	0.4
合計		10,618,800	10,549,000	69,800	0.7

## (5) 地方交付税

普通交付税と特別交付税を合わせて、前年度と比較して3億円の増で見込みました。

(単位：千円・%)

区分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
普通交付税	4,750,000	4,500,000	250,000	5.6
特別交付税	900,000	850,000	50,000	5.9
合計	5,650,000	5,350,000	300,000	5.6

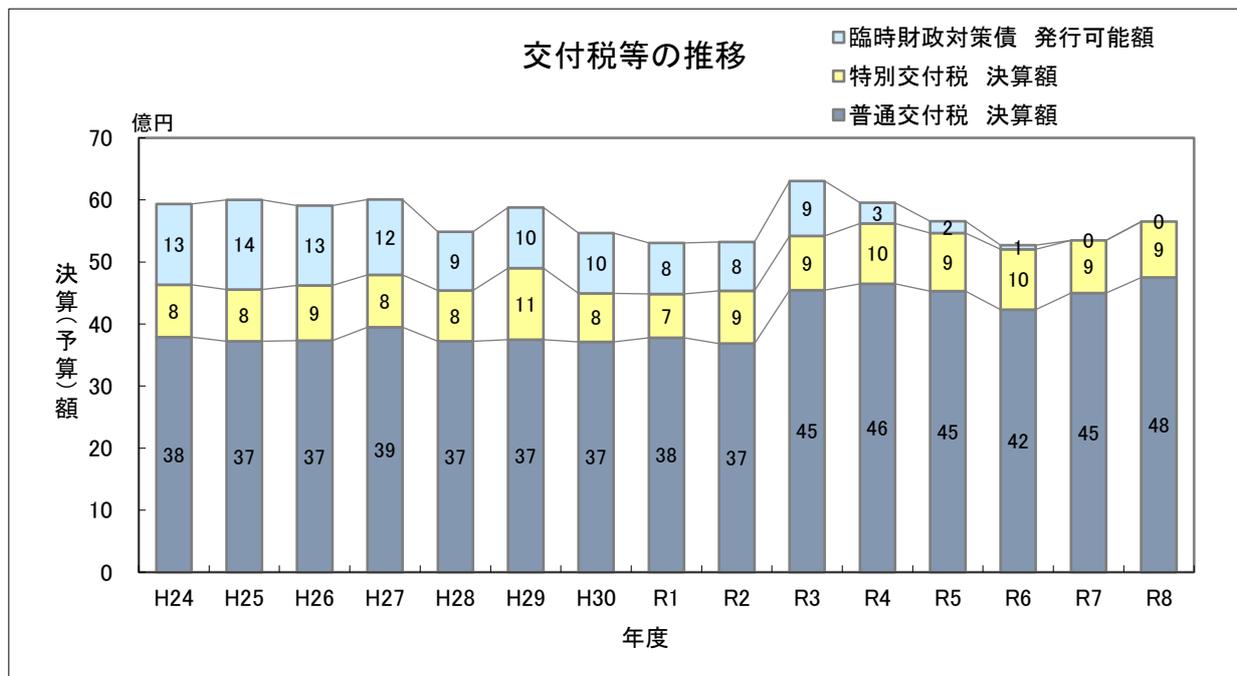
### ・普通交付税 47億5,000万円

令和7年度決算見込みおよび国の「令和8年度地方財政対策」を基に、47億5,000万円(対前年度当初予算比2億5千万円増)を見込みました。

### ・特別交付税 9億円

近年の交付実績を踏まえ、9億円(対前年度当初予算比5千万円増)を見込みました。

(R元：7億771万円、R2：8億5,269万円、R3：8億7,561万円、R4：9億7,306万円、R5：9億3,612万円、R6：9億7,425万円)



\* 令和7年度および令和8年度は当初予算計上

## (6) 国庫支出金

国庫支出金は、地域未来交付金の増等により、前年度当初予算と比較して1.7%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
6,046,444	5,943,067	103,377	1.7

### 【主な増減内訳】

- ・地域未来交付金 160,227千円→515,746千円 ( 355,519千円)
- ・公立学校情報機器整備費補助金 0千円→236,134千円 ( 236,134千円)
- ・給食費負担軽減交付金 0千円→102,960千円 ( 102,960千円)
- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 220,687千円→ 0千円 (△220,687千円)
- ・デジタル基盤改革支援事業費補助金 358,119千円→ 11,028千円 (△347,091千円)

## (7) 県支出金

県支出金は、給食費負担軽減交付金の増等により、前年度当初予算と比較して7.0%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
3,113,281	2,908,339	204,942	7.0

### 【主な増減内訳】

- ・給食費負担軽減交付金 0千円→ 102,960千円 ( 102,960千円)
- ・子どもの遊び場整備事業費補助金 0千円→ 100,000千円 ( 100,000千円)
- ・集落基盤整備事業費補助金 9,100千円→ 77,000千円 ( 67,900千円)
- ・水田園芸産地育成促進事業費補助金 30,000千円→ 0千円 ( △30,000千円)
- ・介護施設等整備事業費補助金 64,246千円→ 19,420千円 ( △44,826千円)

## (8) 繰入金

繰入金は、教育振興基金繰入金の皆増等により、前年度当初予算と比較して64.8%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
964,463	585,260	379,203	64.8

### 【主な増減内訳】

- ・教育振興基金繰入金 0千円→ 260,000千円 ( 260,000千円)
- ・育てやすいまちづくり基金繰入金 0千円→ 80,000千円 ( 80,000千円)

## (9) 市債

市債は、公共施設の長寿命化事業のほか、複合交流施設整備や神明地区公立認定こども園整備などの実施により、前年度当初予算と比較して34.6%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
4,242,000	3,152,200	1,089,800	34.6

## 重点的施策

令和8年度は、前年度に引き続きブランド戦略『つくる、さばえ』を軸に本市の魅力を高め、「鯖江での暮らしは楽しい」「鯖江の未来は明るい」「鯖江で家族をつくりたい」といった気持ちを醸成し、「人口減少対策」、「移住定住促進」につながる事業を推進することで、鯖江市が目指す将来像「笑顔があふれるめがねのまちさばえ～人が集い、輝き、挑戦するまち～」の実現を目指します。また、喫緊の課題である物価高騰への対策として、1月補正において予算計上した施策を中心に、市民の暮らしを守り、地域の活力を高める取り組みを推進します。

## ☆:鯖江市の独自施策

## 1

## 『つくる、さばえ』



『つくる、さばえ』を合言葉に、鯖江がこれまで培ってきた「つくる」文化のさらなる価値向上を図り、その価値観をより一層浸透させていきます。令和8年度は、『結婚・子育て』『ウェルビーイングの推進』『ふるさと教育の推進』『ものづくりのまちの推進』『交通環境・生活環境づくり』『めがねのまちさばえの魅力発信』を柱とし、より実効性の高い施策を展開し、未来をともに創るまちづくりを推進します。

## 『結婚・子育て支援』

## 【新規】“つくる”でつながるさばえ出会い創出事業☆（総合政策課）

7,950千円

鯖江市の強みである「ものづくり」に興味・関心を抱く全国の結婚希望者を対象に、オンライン交流会を実施し、本市の人や暮らし、産業、文化をはじめとする魅力の発信を行うとともに、体験コンテンツを中心とした工房見学・交流イベントをとおしてマッチング、そして成婚につなげます。

## 【新規】スポーツを通じた若者の成長と地域愛着醸成事業☆（スポーツ課）

5,880千円

休日部活動の地域展開の取組として、一流講師によるコーチングなどを取り入れた地域クラブ活動を実施し、子どもたちの成長を地域で支える環境の充実を図ります。これにより、地域への愛着を育み、安心して子育てできるまちづくりを進めます。

## 【ここがポイント!】

・鯖江にしながら有名選手や一流指導者の指導を受けられる環境を整え、子どもの質の高い学びと保護者の安心を両立する“子育て支援としての部活動移行”を実現します。

## 【継続】ドリーム・チャレンジ事業☆（秘書広聴課）

2,000千円

行政や企業等が連携し学びや機会を提供し、子どもが夢を持ちいきいきと生活できる環境およびふるさと愛を育む環境を整えます。

## 【新規】長期休暇中の学童保育における昼食提供に向けたモデル事業☆（こどもまんなか課）

420千円

長期休暇中の学童保育において、「毎日の弁当づくりが大変」という保護者の声やニーズに応え、学童保育を利用する児童の保護者が一定の費用負担のもと、注文した弁当を提供するモデル事業を、市内2か所の児童クラブで夏期休暇中に実施します。

### 【ここがポイント!】

- ・保護者の負担を軽減し、安心して学童保育を利用できる環境づくりにつなげます。
- ・実施後は、利用満足度やニーズを丁寧に把握し、今後の本格導入に向けて課題整理や事業手法の検討を進めます。

### 【新規】主食提供推進のための備品等購入支援事業☆（保育・幼児教育課）

6,359千円

市内の公私立保育所等において、「毎日の主食準備の負担が大きい」「夏場の衛生面が心配」といった保護者の声に応え、主食提供を進めるための備品購入費や工事費等を支援します。

※主食提供する場合には、保護者からの実費徴収となります。

### 【ここがポイント!】

- ・安心・安全な食環境を確保  
特に夏場の衛生面の不安を解消し、主食（ごはん）を提供します。
- ・保護者の負担を軽減  
朝の準備の負担軽減、家庭の時間のゆとりを生みだします。

### 【新規】ほんのきっかけプロジェクト☆（学校教育課）

1,200千円

日常的に読書をする児童生徒が減り、読書離れが進んでいる中、子どもたちが本と出会うきっかけを広げるために、ちょうど10歳という節目の年を迎える小学4年生に一人当たり2千円の図書カードを贈呈します。

### 【ここがポイント!】

- ・子ども自身が読みたい本を自分の手で選ぶきっかけをつくり、読書離れを防ぎます。

### 【新規】“つくる”でつながるものづくり交流事業☆（総合政策課）

623千円

ものづくりで連携する山梨県甲府市の小学校とのオンライン授業をとおして異なる産地の魅力を互いに学び合うことで、ものづくりへの理解を深め、ふるさと愛の醸成および未来の担い手となる人材を育みます。

### 【継続】保育所・幼稚園給食費支援事業☆（保育・幼児教育課）

14,493千円

令和8年度も引き続き、次の負担軽減策を実施します。

私立保育所などに通う3歳以上のお子さんには、年間1万2千円を補助、公立保育所などの給食費については、年間1万2千円減額を行い、保護者の経済的負担を軽減します。

- ・副食費保護者負担軽減事業（私立保育所） 9,600千円
- ・給食費保護者負担軽減事業（幼稚園） 506千円
- ・公立保育所の保護者実費負担 歳入減 △4,387千円

### 【新規】学校給食支援事業☆（学校教育課）

286,968千円

「心身の健全な発達」「食生活の改善」「食育の推進」を目的として小学校においては給食費の完全無償化を実施し、中学校においては物価高騰・人件費高騰のなか、保護者負担額を令和7年度と同額に据え置き、保護者の負担軽減を図り、子育てを支援します。

- ・学校給食支援事業（小学校） 253,968千円
- ・中学校の保護者実費負担 歳入減 △33,000千円

### 【継続】子育て応援事業～パパママ、休みませんか～☆（総合政策課）

464千円

市内の小学生を対象に、ものづくりの魅力に触れ、地場産業への理解を深めるツアーを実施します。これにより、親御さんの自由時間を確保し、安心して余裕のある子育てを支援します。

### 【新規】さばえハッピーダンス事業☆（総合政策課）

4,840千円

市内保育施設においてダンスを保育に取り入れることで、幼児期における表現力・協調性等の育成を図るとともに、運動遊びの充実による心身の健やかな成長、家庭や地域を巻き込んだ世

代間交流の促進を通じて、日常の中に「楽しさ」「心地よさ」を実感できるウェルビーイングの向上を目指します。

【**ここがポイント!**】

- ・ダンスを保育に取り入れることで、幼児期の情操教育につながるとともに、振り付けをプロが考えることで保育士の負担軽減につながります。

【**拡充**】地域障害児支援体制強化事業（社会福祉課）

5,487千円

児童発達支援センターを整備し、中核的機能を担うことで、障がいのあるこどもとその家族に対する発達支援の質を高め、地域の支援体制を強化します。

【**ここが拡充ポイント!**】

- ・中核的機能強化により、専門性に基づく発達支援の質向上や関係機関との地域連携の強化、地域の保育所等における障がいのあるこどもの育ちの支援への協力など、インクルーシブな環境づくりを推進します。
- ・家族がこどもの発達に不安を感じるなど「気づき」の段階にあるこどもや家族への早期支援と相談体制の充実を図り、こどもと家族が安心して暮らせるまちづくりを目指します。

【**継続**】結婚新生活支援事業費（こどもまんなか課）

46,250千円

婚姻に伴う経済的負担を軽減するため、新規に婚姻した世帯を対象に家賃や住宅購入などの支援を行うほか、新規に婚姻した若い夫婦を対象に結婚に伴う新生活のスタートアップのための支援金を支給します。

【**新規**】移動式赤ちゃんテント貸し出し事業☆（こどもまんなか課）

990千円

乳幼児を連れて保護者が安心して外出・参加できる環境を整えることを目的に、授乳・搾乳・おむつ替え等ができる「移動式赤ちゃんテント」を市内イベント等へ貸し出します。

【**ここがポイント!**】

- ・赤ちゃん連れでも安心して参加できる“やさしいイベント環境”を実現します。
- ・イベント主催者側の負担を軽減し、授乳・搾乳・おむつ替えスペースの不足を解消します。

【**拡充**】赤ちゃん訪問デジタルギフト支給事業☆（こどもまんなか課）

2,094千円

健康づくり課が実施する赤ちゃん訪問時（生後4ヶ月と、7～8ヶ月）に子育て関連企業で使用できるデジタルギフトを支給します。

【**ここが拡充ポイント!**】

- ・これまで紙のおむつ券として配付していたものを利便性の向上を図るため、デジタルギフトによる支給に変更します。

【**拡充**】ヤングケアラー支援体制強化事業☆（こどもまんなか課）

4,644千円

高校生とヤングケアラーについて学ぶ機会を設け、協力して小中学生向けの分かりやすい啓発パンフレットを作成し、正しい理解を広げます。

【**ここが拡充ポイント!**】

- ・高校生向けにヤングケアラーについて学ぶ勉強会を開催します。
- ・市内高校と連携し、啓発パンフレットに使うイラストを高校生とともに制作します。

【**継続**】さばえ幼児教育わくわくこども一しょん事業☆（保育・幼児教育課）

4,329千円

鯖江市内の4、5歳児を対象に本物に触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな感性と表現力を育成します。今年度も児童観劇を予定しています。また、地場産食材を活用したおやつを提供し、地域を学ぶ「食育」も行います。

**【新規】乳児等通園支援事業（通称：誰でも通園制度）（保育・幼児教育課）**

2,496千円

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず月10時間まで保育所等を利用できる制度を開始します。

**『ここがポイント!』**

- ・0歳から2歳までの未就園児が対象  
就労要件を問わず0歳から2歳の未就園児が月に一定時間、保育所等に通園できる制度です。
- ・安心の環境づくり  
全てのこどもに良質な成育環境を保障し、質の高い保育を提供します。
- ・子育て支援と負担軽減

**【新規】学校問題解決支援事業（学校教育課）**

2,120千円

学校管理職OBやスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、弁護士、警察OBなどで構成する「学校問題解決支援チーム」の設置に向けた準備を進め、学校と保護者の両方に対し適切な助言を行うことで、保護者の不安を軽減し、子どもを守るための最適な判断と行動を支援します。

**『ここがポイント!』**

- ・様々な専門家が参画して問題解決に対応する体制を整備します。

**【拡充】小中学校GIGAスクール推進事業（学校教育課）**

498,465千円

小中学校児童生徒が使用しているGIGAスクール対応学習者用タブレットの再整備を行います。端末スペックが向上し、よりよい環境での学びの提供を図ります。

**【継続】地域ではぐくむ「子どものびのび広場」整備事業☆（生涯学習課）**

996千円

公民館内に地域の子育て世代が気軽に集い交流できる居場所をつくり、公民館を活用した地域ぐるみの子育てをサポートします。

**『ウェルビーイングの推進』**

**【拡充】高年大学学園祭開催事業（第40回記念）☆（生涯学習課）**

1,224千円

40回という節目を迎えるにあたり、記念事業として規模を拡大し、市民と受講生がともに楽しめる場を提供することで、高年大学の魅力をより広く発信します。さらに、地域住民や若い世代と高齢者が共に学び、体験し、交流できる企画を導入することで、世代間の対話を促進し、地域文化の継承と未来志向の学びを結びつけます。

**【統合】高齢者のいきがいと健康づくり推進事業☆（長寿福祉課）**

4,869千円

健康で生きがいのある生活を送り長寿を喜べる社会をつくるため、各種講座を開催し高齢者の学習活動を支援します。また、ふれあいと学びを通じ、高齢者の健康増進や行動範囲の拡充と生きがいづくりを目的とし、市のマイクロバスを活用して市内の文化財等をめぐります。

**【拡充】LOVOT（AIロボット）導入事業☆（学校教育課）**

6,957千円

心のヒーリングを目的に、AIを搭載するコミュニケーションロボットLOVOTを小中学校に配備します。

**『ここがポイント!』**

- ・令和8年度で市内全小中学校への配置が完了します。

**【新規】業務量調査・業務改革事業☆（デジタル推進課）**

**5,500千円**

業務量調査を実施し、業務負担、業務構造の見える化を図ります。結果から統一的な事務フローを作成し、フローをもとに、地域活性化起業人制度の活用と内製化を視野に業務改革を実施します。

**【ここがポイント！】**

- ・各課の業務負担、業務構造を可視化します。
- ・定型的な業務フローを作成することで業務の標準化を図ります。
- ・業務フローが明確になることで、重複作業や機械に任せることができる業務を特定でき、伴走支援を通じて業務改革につなげます。

**【拡充】デジタル人材育成研修事業☆（デジタル推進課）**

**3,245千円**

入庁4年目の職員等を対象としたスキルアップ研修を開催し、DX推進に向けた職員のデジタルスキル向上を目指します。

**【ここが拡充ポイント！】**

- ・新年度からは希望者を対象として、高度なツール活用を学ぶエキスパート養成講座を開催し、デジタル人材育成を強化します。

**【拡充】書かない窓口事業☆（市民窓口課）**

**8,428千円**

書かない窓口を住民異動から証明書発行やマイナンバーカード手続きへ広げ、記入の負担を減らし、誰もが利用しやすいサービスに進化させることで、暮らしやすさ、行政サービスの質を高め、鯖江市で住み続けたい、移り住みたいと思える環境づくりにつなげます。

**【ここが拡充ポイント！】**

- ・書かない窓口で証明書発行受付に対応します。
- ・マイナンバーカードに関する手続きが書かずにできます。

**【継続】地域イノベーション拠点づくり事業☆（総合政策課）**

**6,000千円**

地域イノベーションを起こす人材（ローカルイノベーター）を育成するため、活動拠点となるイノベーションスクールを開講します。

**【継続】鯖江市役所シゴトプロジェクト事業☆（総合政策課）**

**1,000千円**

事業立案の企画力を向上させるため、デザイン思考および政策デザインの研修を実施するとともに、政策デザインアドバイザーを委嘱します。

**【拡充】ウェルビーイング推進事業（ダイバーシティ推進・相談課）**

**1,261千円**

ウェルビーイングな社会の実現を目指すため、市民を対象にしたセミナーやワークショップ等を開催します。また、区長会と連携し、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）の気づきや地域での積極的な活動につながるようワークショップ等を行います。

**【拡充】地域障害児支援体制強化事業（社会福祉課）（再掲）**

**5,487千円**

児童発達支援センターを整備し、中核的機能を担うことで、障がいのあるこどもとその家族に対する発達支援の質を高め、地域の支援体制を強化します。

**【ここが拡充ポイント！】**

- ・中核的機能強化により、専門性に基づく発達支援の質向上や関係機関との地域連携の強化、地域の保育所等における障がいのあるこどもの育ちの支援への協力など、インクルーシブな環境づくりを推進します。
- ・家族がこどもの発達に不安を感じるなど「気づき」の段階にあるこどもや家族への早期支援と相談体制の充実を図り、こどもと家族が安心して暮らせるまちづくりを目指します。

**【拡充】相談支援事業（社会福祉課）****8,000千円**

一部委託していた基幹相談支援センターを、専門的な知識と経験を持つ職員を配置した相談支援事業所に委託し、相談支援事業者の人材育成や支援の質向上のための取り組みを支援することで、地域の相談支援体制の強化に取り組みます。

**『ここが拡充ポイント！』**

- ・障がいのある方が自立した生活を送れるよう、専門的な相談支援を充実させるとともに、人材育成や関係機関との連携強化を図ります。
- ・地域移行や地域定着の促進に加え、地域課題の解決に向けて関係機関と協働し、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

**【継続】重層的支援体制整備事業（多機関協働事業等）☆（社会福祉課福祉総合相談室）****11,034千円**

複雑・複合的な支援ニーズに対し、関係機関で課題把握や役割分担、支援方針を整理し、円滑な支援を図ります。重層的支援会議や居住継続支援体制整備、庁内連絡会を通じ、地域課題解決に向けた体制を協議します。

**【拡充】重層的支援体制整備事業（生活困窮）☆（社会福祉課福祉総合相談室）****17,033千円**

生活困窮者の複合課題に対し、相談支援や就労・家計改善支援を一体的に行い、初期兆候を捉えて早期相談につなぐ『くらしのSOS早期支援事業』を推進します。

**『ここが拡充ポイント！』**

- ・包括的な相談窓口（福祉総合相談室）で相談支援します。
- ・デザイン思考でわかりやすいチラシを作成し、支援情報を発信します。
- ・地域の関係機関・団体との連携強化により、生活困窮者の早期発見と支援を促進します。
- ・各課や生活関連機関と連携し、多様な周知手段を活用して早期把握・支援につなげます（電気などの滞納通知へのチラシ同封、各課事業との連携、高校生向け出前講座で若年層にも周知します。）

**【継続】生活困窮者自立支援事業（ひきこもり支援推進事業）☆（社会福祉課福祉総合相談室）****7,403千円**

ひきこもりの方やご家族が気軽に相談できる体制を整え、社会とのつながりの回復・維持を支えます。重層的支援体制整備事業とも連携し、切れ目のない支援を進めます。

**【継続】グッドシフト「さばえ7つの健康習慣」コラボプロジェクト☆（健康づくり課）****3,993千円**

健康寿命延伸を目的に、“さばえ7つの健康習慣”を日常生活の中で無理なく続けられるよう、行政と市内企業・団体、デザイナー等が連携し、健康関連事業の創出・改善に取り組む官民連携プロジェクトです。

**【継続】地域の未来をつくる若者チャレンジ事業（ティーンズチャレンジ応援プロジェクト）☆（生涯学習課）****402千円**

小中高生が地域の活性化に向けて考えたアイデアを公民館や地域団体がサポートして実現し、地域の未来をつくる若者の「居場所」と「舞台」を創出します。

**【継続】地域ではぐくむ「子どものびのび広場」整備事業☆（生涯学習課）（再掲）****996千円**

公民館内に地域の子育て世代が気軽に集い交流できる居場所をつくり、公民館を活用した地域ぐるみの子育てをサポートします。

**【継続】西山公園イルミネーションきずな事業「ファミリンにしやま」☆（生涯学習課）****1,453千円**

西山公園を会場に市民の絆を深めることを目的にした市民参加型のイルミネーション点灯イベ

ントを開催し、大人と子どもがともに楽しみながら未来を担う子どもたちの健全育成を図るとともに、冬の西山公園の賑わい創出へとつなげます。

**【継続】さばえ\*まちなか芸術祭事業☆（文化課）**

5,000千円

歴史ある西山公園を核に誰もが笑顔で楽しめる参加型芸術祭を開催します。子どもの頃から芸術に親しめる環境を整えることで子育て世代をはじめ若者が住みたくなるまちを創造し、芸術文化を通じて市の魅力を発信し、多くの人が定住しやすい文化的な都市を目指します。

**【新規】（鯖江市・越前町連携事業）文化財の3次元計測およびWEBコンテンツ制作事業☆  
（文化課）**

1,010千円

本市と越前町にまたがる三床山城などのウェブコンテンツを開発し、ファミリー層を対象に、山城の魅力に触れ文化財への理解を深める登山ツアー等を両市町の連携事業として実施します。

**【新規】運動・スポーツ習慣化促進事業☆（スポーツ課）**

3,300千円

運動の習慣化による健康増進を図るため、ウォーキングアプリの普及に取り組むとともに、気軽に参加できるウォーキングなどのイベントを開催します。

**『ここがポイント！』**

- ・大人も子どもも手軽に取り組めます。
- ・アプリを通じて、みんなの歩数がわかります。（イベント参加時）

## 『ふるさと教育の推進』

**【新規】小中学生プログラミングフェス開催事業☆（デジタル推進課）**

1,000千円

県内外の小中学生を対象に2日間の「プログラミングフェス」を開催し、交流と高度な体験機会を提供します。

**『ここがポイント！』**

- ・10回目の節目にITのまちさばえで開催（鯖江市では平成30年度に続いて2回目）！
- ・地域を超えた学びの交流を促進し、子どもたちの視野を広げます。
- ・実習や体験型イベントで、論理的思考や創造力を育成し、将来のIT人材育成に寄与します。

**【継続】福井の「食」の未来を支える食育推進事業（農林政策課）**

310千円

五味について学習する「おいしさを探検する学習（3年生）」や、和食や出汁について学ぶ「おいしさを引き出す学習（5年生）」を全小学校で実施することで食育授業の効果を高めます。

**【統合】まちづくりプレイヤースクール事業☆（市民主役推進課）**

6,100千円

地域で活動したいと考える人が一歩を踏み出すきっかけを得る「まちづくりプレイヤースクール」を開校します。今後も「市民主役のまち」のトップランナーであり続けるために、地域で活躍するプレイヤーが自ら企画を立ち上げ、事業の成功および自走化、さらには収益化が実現できるまちづくりプレイヤーの育成支援を実施します。

**【継続】ぐるっと公民館 人と地域のつながりづくり事業☆（生涯学習課）**

306千円

公民館を巡るスタンプラリーを実施し、楽しみながら各地区公民館へ足を運んでもらうきっかけをつくり、各地区のまちの魅力や公民館活動に触れながら、市民や地域の新たなつながりづくりを進めるとともに、ふるさとの宝の再発見を促します。

**【継続】地域の未来をつくる若者チャレンジ事業（ティーンズチャレンジ応援プロジェクト）☆  
（生涯学習課）（再掲）**

402千円

小中高生が地域の活性化に向けて考えたアイデアを公民館や地域団体がサポートして実現し、地域の未来をつくる若者の「居場所」と「舞台」を創出します。

**【新規】（鯖江市・越前町連携事業）文化財の3次元計測およびWEBコンテンツ制作事業☆**  
（文化課）（再掲） 1,010千円

本市と越前町にまたがる三床山城などのウェブコンテンツを開発し、ファミリー層を対象に、山城の魅力に触れ文化財への理解を深める登山ツアー等を両市町の連携事業として実施します。

**【新規】まちなかミュージアム事業（仮）「クリヨウジ回顧展」☆（文化課）**  
4,494千円

令和6年に逝去された日本アニメーション界のパイオニアであり、絵画・造形・漫画など多彩な分野で才能を発揮し、鯖江から世界に飛躍した郷土出身の芸術家、クリヨウジの偉業を紹介する展覧会を開催し、芸術文化を通して市の魅力を発信します。

**【ここがポイント!】**

- ・本市出身の著名な芸術家の作品鑑賞の場を提供し、県内外からの来訪者を増やすことで、まちなかに賑わいを創出します。
- ・まなべの館を芸術文化の拠点として位置づけ、館を中心に周遊できる仕組みを工夫し、まちなか全体を巻き込んで大人から子どもまで楽しめる展覧会を開催します。
- ・子どもの頃から芸術作品に触れる機会を提供することで、クリヨウジに続く創造力豊かな人材を育成します。

**【新規】まなべの館企画展 生誕120年記念西山真一・松生親子展☆（文化課）**  
446千円

郷土出身の洋画家・西山真一の生誕120年を記念し、館蔵品による企画展を開催します。あわせて、真一氏の三男で、令和6年に逝去され、令和7年に47点の作品をご寄贈いただいた、洋画家・西山松生の寄贈作品も公開します。

**【ここがポイント!】**

- ・鯖江出身の芸術家を紹介する機会の創出により、郷土愛向上と市の魅力UPにつなげ、市民の文化的生活の充実を図ります。

## 『ものづくりのまちの推進』

**【継続】越前漆器プロモーション事業☆（総合政策課）**  
11,468千円

ジャパンオープンテニスのプレーヤーズラウンジにおいて越前漆器の展示・体験を行い、インバウンド層に向けプロモーションを実施します。また、SNSやメディアを活用し、若者世代に越前漆器の魅力を発信し、産地力の向上・担い手の確保につなげます。

**【継続】地域ブランド推進事業☆（総合政策課）**  
2,997千円

地域ブランド「つくる、さばえ」を体現しているイベントへのブース出展を図るとともに、市内で活動しているつくり手取材の実施、WEBサイトのコンテンツの充実を行うことで、地域ブランドの啓発の実施および市民がまちの魅力や課題を知り、自らアクションを起こす機運醸成を図ります。

**【新規】めがねのまちさばえ未来ビジネスチャレンジ事業☆（産業振興課）**  
3,020千円

市内企業や創業予定者の新たな挑戦を公募し、ビジネスコンテスト形式で評価・支援します。受賞者には、賞金（事業化資金）とよろず支援拠点等による伴走支援を行い、新商品・サービス開発・販路拡大・ビジネスモデル構築等を後押しします。

**【ここがポイント!】**

- ・資金支援と専門家伴走を組み合わせることで挑戦を事業化まで導きます。
- ・公募・審査・成果発表を通じ、挑戦を「見える化」します。

**【拡充】チームさばえと越前漆器の販路拡大プロモーション事業☆（産業振興課）**  
17,249千円

さばえのものづくり産業が持つ高い技術力の発信と地域産品の認知度向上、さらには来訪者の増

加による誘客促進を図るため、市内ものづくり企業群と連携した「チームさばえ」による共同ブースを設置し機械要素技術展へ出展します。さらに、越前漆器の魅力を首都圏で広く紹介するとともに、ツーリズムE X P O等への出展を通じて、新たな交流機会の創出、誘客に取り組みます。

【**ここが拡充ポイント!**】

- ・ツーリズムE X P Oに出展し、越前漆器の魅力や産業観光ツアーを来場者に分かりやすく紹介することで、認知度の向上と誘客促進を図るとともに、新たな産業観光ツアーパッケージの造成につなげていきます。

【**新規**】 **ビジネススキルアップスクール事業☆（産業振興課）**

1,600千円

鯖江商工会議所と連携し、現在のビジネスシーンで求められる実践的スキルの向上を図るため、新入社員から若手・中堅・管理職までの階層別研修セミナーを開催します。企業の成長段階に応じた内容で、人材力の強化と職場全体の生産性向上につなげます。

【**ここがポイント!**】

- ・企業のニーズを踏まえ、実務で使える内容に厳選したプログラムを提供します。
- ・人材の定着や生産性向上に直結する効果をめざします。

【**継続**】 **案内標識等改修事業☆（産業振興課）**

2,058千円

主要道路における本市産業拠点施設の誘導看板・案内表記を統一することで、初めて鯖江を訪れる方でも安心して市内を回遊できる環境を整えます。

【**拡充**】 **神明エリアスケールアップ事業☆（産業振興課）**

24,000千円

神明地区に点在する眼鏡のファクトリーショップを核に、地域の歴史・文化・食を活かした「産業観光エリア」の面的整備を推進します。各種実証実験等を通じて、滞在時間の延長と周遊型観光への転換を図り、産地の価値向上につなげます。

【**ここが拡充ポイント!**】

- ・面的な連携により、体験性の高い周遊環境の実現を目指します。
- ・実験的な取り組み等を通じて、産業・観光・地域活性化が連動する持続可能な仕組みを構築します。

【**継続**】 **未来のシゴト発見ツアー事業☆（産業振興課）**

350千円

将来、県内就職を希望する高校生を対象に、市内企業の職場見学会を実施することで、若い世代の地元定着を図ります。

【**継続**】 **企業合同インターンシップ事業☆（産業振興課）**

1,023千円

県内外の大学生や専門学校生などを対象とした市内企業合同のインターンシップを実施し、市内企業への理解と関心を高め、市域全体における新規人材の確保につなげていきます。

【**拡充**】 **さばえものづくり補助金☆（産業振興課）**

40,120千円

市内中小企業が抱える経営課題の解決と持続的な成長を支援するため、企業が取り組むさまざまな挑戦を後押しするものづくり補助金を継続して実施します。企業が持つ技術やアイデアを活かし、新たな価値創造や経営力の強化につなげます。

【**ここが拡充ポイント!**】

- ・人材確保に課題を抱える企業の採用力向上を支援するため、新たに合同企業説明会、就職活動イベント、転職フェア等への出展に係る費用を補助します。

【**継続**】 **鯖江デザイン経営スクール事業☆（産業振興課）**

4,500千円

持続可能な地場産業の発展を目的に、デザイン思考を取り入れた経営の考え方や発想力を学ぶことで、事業者の経営マインドの醸成と付加価値創出力の向上を図ります。

【新規】バス・タクシー未来の担い手育成事業☆（交通・にぎわい創出課）

700千円

つつじバスやタクシーなどの利用促進を図るために、つつじバスの洗車体験やタクシーの乗車体験等のイベントを実施します。また、地域交通への愛着を醸成し、将来的な担い手（運転手確保）育成につなげます。

【ここがポイント！】

- ・公共交通利用促進：イベントを通じて、利用者を増やすきっかけをつくります。
- ・地域交通への愛着醸成：住民が地域交通に親しみをもち、関心を高めます。
- ・将来の担い手確保：子どもや若者に交通の仕事を体験してもらうことで、将来的な運転手確保につなげます。

【新規】ぐるっとSABAEシェアサイクル実証事業☆（交通・にぎわい創出課）

12,200千円

将来的な本格導入を見据え、産業観光の促進に向けた二次交通手段としての有効性を検証する実証事業として、シェアサイクルを導入します。貸出時間や窓口対応に制約されないシステムを構築し、スマートフォンアプリによる非対面手続きを活用することで、旅行者や市民双方にとって利便性の高い移動手段となり得るかを検証します。

【ここがポイント！】

- ・鯖江地区・神明地区・河和田地区に電動アシスト自転車によるシェアリングサービスを試行的に導入し、駅等の交通結節点からの二次交通対策としての有効性に加え、産業観光施設や飲食店等への回遊促進効果を検証します。
- ・駅や産業観光施設等を含む市内約20か所に貸出ポートを設置し、スマートフォンアプリによる非対面利用を可能とすることで、柔軟な運用手法と利便性向上の効果を検証します。

【拡充】鯖江まちなか交流・にぎわい協議会☆（交通・にぎわい創出課）

7,000千円

鯖江まちなか交流・にぎわい協議会・幹事会・分科会を開催するとともに、中長期的なアクションプログラムを作成します。

【新規】市営駐車場満空システム整備事業☆（都市計画課）

2,152千円

市営駐車場（鯖江駅周辺、嚮陽会館前駐車場）の利便性向上と周辺道路の渋滞緩和を目的として、駐車場の利用（混雑）状況確認満空システムの構築と嚮陽会館周辺道路のライブ配信を行います。

【ここがポイント！】

- ・ホームページで満空情報およびライブ映像を発信することで、携帯などで混雑状況の事前確認を可能とします。

【新規】AI×衛星で漏水ゼロ戦略事業☆（上下水道課）

7,300千円

市内全域を対象に、衛星画像・土壌・管路情報をAIで解析し、漏水リスクを5段階でメッシュ表示し可視化します。この結果を活用し、早期発見と更新計画を最適化し、効率的で持続可能な水道施設の維持管理を実現します。

【ここがポイント！】

- ・県内初導入で、従来手法を超える効果として、調査期間40%削減、費用55%削減、漏水発見効率6倍の効果が期待できます。

【拡充】スマートエネルギー導入応援事業☆（環境政策課）

21,842千円

脱炭素社会の実現に向け、市内の家庭および事業者を対象に、省エネ家電（家庭用エアコンや冷蔵庫）・高効率給湯器・再エネ設備（太陽光パネル・蓄電池）およびLED照明器具への更新に要する費用の一部を補助します。

【ここがポイント！】

- ・エネルギー価格高騰対策と温室効果ガス削減を推進します。

**【新規】ごみ発電による公共施設エコ電力活用事業☆（環境政策課）**

11,294千円

新ごみ処理施設において発生する余剰電力を有効活用し、カーボンフリー電気として市内29の公共施設へ供給することで、エネルギーの地産地消と脱炭素の推進を図ります。

**【ここがポイント!】**

- ・新ごみ処理施設で発電した電力を、無駄なく公共施設で活用し、公共施設の脱炭素化につなげます。

**【臨時】公共施設等総合管理計画改定事業☆（施設管理課）**

11,847千円

人口減少や少子高齢化による社会構造の変化や市民ニーズの変容に的確に対処することが求められる公共サービスにおいて、そのサービス拠点となる公共施設の維持・整備マネジメントサイクルを計画します。

**【ここがポイント!】**

- ・施設の劣化状態や利用状況を把握し、計画的な長寿命化対策を検討します。
- ・市民ニーズや事業効果を考慮した整備計画を検討します。
- ・ユニバーサルデザインの視点を優先した整備を検討します。
- ・脱炭素化の視点を取り入れた整備を検討します。

**【拡充】有害鳥獣駆除事業費☆（農林政策課）**

18,320千円

近年、全国的にクマの市街地への出没が相次いでいることから創設された緊急銃猟制度への対応や、昨年市内で発生したクマの大量出没への対応を踏まえ、クマ対策の強化を実施します。また、近年被害が増加しているシカ等による獣害に対応するため、防除および捕獲を一体的に強化します。

**【ここが拡充ポイント!】**

- ・クマへの対策強化として、過去に大量出没が確認されたエリア等において、カキなどの放任果樹の伐採を行い、クマの出没抑制を図ります。また、緊急銃猟の実施に必要な備品を購入するとともに、センサーカメラにAIによるクマの判別機能を継続して導入し、クマ出没時の対応の迅速化を図ります。
- ・シカ等への対策強化として、鯖江市有害鳥獣捕獲隊によるくくりわなを用いた誘引捕獲を継続して実施します。あわせて、有害鳥獣捕獲後に集落が実施する埋設処理について支援します。

**【新規】災害時サポートガイドブック作成事業☆（防災危機管理課）**

若手提案・15,500千円

防災気象情報の見直しや地域防災計画の改定などを踏まえ、サポートガイドブックの情報を最新の内容に更新します。より見やすく、分かりやすい内容とし、自宅の位置などを表示できるシールを添付することで、家庭で防災について考える機会を増やし、市民の防災意識の向上を図ります。

**【臨時】市庁舎非常用電源等整備事業☆（防災危機管理課）**

17,600千円

大規模災害時に備え、市庁舎で72時間連続して防災拠点の機能を維持するため、新館に非常用発電機を整備するなど、新館への防災拠点移設に向けた実施設計業務を行います。

**【臨時】サーバ移設と庁内LAN再構築事業☆（デジタル推進課）**

36,500千円

市庁舎非常用電源等整備事業に併せて、停電時を含む災害時においてもネットワークを安定的に維持するためのサーバ移設および庁内LAN再構築に係る設計業務を行います。

**【新規】AIごみ分別導入事業☆（環境政策課）**

2,981千円

ごみ分別の適正化と市民の利便性向上を目的に、スマートフォンで撮影したごみ画像から、AIが分別区分を判定する仕組みを導入します。

**【ここがポイント!】**

- ・ごみ分別を適正に行うことで、ごみの減量、資源化率の向上を図ります。

「ものづくり」という共通の強みを持つ甲府市と鯖江市が「つくる」をテーマに連携し、行政、市民、経済界、産業界、学校、金融機関、メディア等と官民協創で地方創生の新たなロールモデルを構築し、住んでみたいと思えるまちづくりにつなげます。

**【新規】クロスシティ職員アカデミー事業☆（総合政策課）**

328千円

眼鏡・繊維・漆器を中心とした地域産業への理解を深めるとともに、プロモーションやブランディング、ふるさと納税などで成果を上げている自治体の優良事例も学び、地域振興の旗振り役となる職員を育成します。

**【新規】“つくる” でつながるものづくり交流事業☆（総合政策課）（再掲）**

623千円

ものづくりで連携する甲府市の小学校とのオンライン授業をとおして異なる産地の魅力を互いに学び合うことで、ものづくりの理解を深め、ふるさと愛の醸成および未来の担い手となる人材を育みます。

**【新規】ふるさと魅力発信「酒脳会談」開催事業☆（総合政策課）**

3,000千円

新酒、新ワインをメインに「食」を通じて、地域の魅力発信および企業マッチングのきっかけを創出し、関係人口の拡大やふるさと納税寄附者の新規獲得を目指します。

**【新規】イベント出展PR事業☆（総合政策課）**

1,492千円

ものづくりで連携する甲府市内で行われるイベントに出展し、鯖江の魅力に触れてもらう「入口」づくりを行い、鯖江ファン（関係人口）の創出を図ります。

**【新規】ブランドマーク制作事業☆（総合政策課）**

500千円

地域産業が抱える後継者不足、事業継承等の課題に立ち向かうべく、「つくる」を合言葉にもものづくり産地が多様なステークホルダーとの連携によりプロジェクトを実施していく象徴としてブランドマークを制作し、プロモーションを行います。

**【新規】“つくる” でつながるさばえ出会い創出事業☆（総合政策課）（再掲）**

7,950千円

鯖江市の強みである「ものづくり」に興味・関心を抱く全国の結婚希望者を対象に、オンライン交流会を実施し、本市の人や暮らし、産業、文化をはじめとする魅力の発信を行うとともに、体験コンテンツを中心とした工房見学・交流イベントをとおしてマッチング、そして成婚につなげます。

**【新規】動物園魅力発信事業☆（総合政策課）**

2,750千円

動物園オリジナルグッズを共同開発、動物園来園者および地域住民の関心を高める新コンテンツの創出をとおして、来園者の更なる増加ならびに交流人口の拡大を図ります。

鯖江のランドマーク西山公園にある西山動物園の人気アイドルレッサーパンダを前面に押し出し、全庁的に連携し、レッサーパンダの広報ツールを充実させることで行ってみたいくなる、住んでみたいくなるまちづくりにつなげます。

**【拡充】西山動物園充実事業☆（公園住宅課）**

6,839千円

来園者の増加と利用者の満足度向上を図るため、ナイトゾーの開催やトレーディングカードの作製、販売、SNSを利用した情報発信を行います。また、来園者の増加と利用者の満足度向上のために、動物園将来構想検討委員会を実施し今後の動物園整備の在り方について検討します。

**【新規】動物園魅力発信事業☆（総合政策課）（再掲）**

2,750千円

動物園オリジナルグッズを共同開発、動物園来園者および地域住民の関心を高める新コンテンツの創出をとおして、来園者の更なる増加ならびに交流人口の拡大を図ります。

**【継続】レッサーパンダラッピング電車貸切ツアー☆（交通・にぎわい創出課）**

300千円

国際レッサーパンダデー（9月第3土曜日）に合わせ、市内在住の小学校親子を対象としたレッサーパンダラッピング電車を貸し切った特別ツアーを実施します。西山動物園ならではの体験と合わせて、家族で楽しく過ごせる“鯖江らしい魅力”を感じてもらい、住みたくなるまちとしての価値を発信します。

**【拡充】市民主役のまちさばえレッサーパンダプロジェクト☆（市民主役推進課）**

4,918千円

市の貴重な地域資源であるレッサーパンダの魅力を活かし、当市の認知度向上ならびに経済収益性を高め、鯖江市全体をレッサーパンダの聖地とする市民と行政が協働するプロジェクトを進めます。

**【ここが拡充ポイント！】**

- ・福井鉄道株式会社「フクラム」への車体全面ラッピング広告を継続します。
- ・鯖江の魅力を発信するレッサーパンダの「Vチューバー」事業を継続し、西山公園を聖地巡礼の観光スポットにする、観光客誘致の動線づくりを推進します。

**【新規】「めがねのまちさばえ」魅力創出事業☆（総合政策課）**

1,400千円

プロ野球選手の折れバットを活用し、本市の技術で眼鏡に再生することで、“話題性×希少性”を打ち出し、「めがねのまちさばえ」の認知度向上および鯖江ファン（関係人口）の創出を図ります。

**【新規】さばえお試し移住支援事業☆（総合政策課）**

500千円

本市の人や暮らし、産業、日常などに触れる機会を希望する移住検討中の方を対象に宿泊費および滞在期間中の移動費を助成し、移住促進を図ります。

**【継続】オープンデータ活用プログラミングコンテスト開催事業☆（デジタル推進課）**

1,450千円

鯖江市のオープンデータを活用したアプリコンテストを開催し、オープンデータ活用の普及促進とITのまちさばえの認知度向上を図ります。

**【新規】めがねナンバーで「さばえる」事業☆（税務課）**

1,750千円

原付バイクを「動く広告塔」として活用することで、日常生活の中で観光資源の認知度向上を図り、「めがねのまちさばえ」の魅力を継続的に発信します。

**【継続】SDGs フェスタアップ事業☆（総合政策課）**

5,340千円

メディアを活用し、若者と連携しながら、本市の特徴的な取組みを効果的に発信します。

**【継続】めがねのまちさばえSDGs 発信事業☆（総合政策課）**

15,632千円

本市の強みであるものづくりや先進的に取り組んできた女性活躍、学生連携、SDGs等を未来につなぐため、全世代参加型のエンターテインメントを活用したフェスを開催します。

**【新規】「めがねのまちさばえ」ファン創出事業☆（総合政策課）**

13,200千円

本市の「ものづくり」や「子育て施策」等の魅力を全国の若者層を中心とした幅広い年齢層に発信するとともに、市内で開催されるイベント等の特集を組み、鯖江での暮らしを「可視化」する中で、認知拡大および鯖江ファンの獲得につなげ、移住・定住およびふるさと納税の更なる獲得を目指します。

**【新規】移住・定住特設サイト構築事業☆（総合政策課）**

7,500千円

移住・定住等の情報を一元化することを目的に特設サイトを構築し、情報発信の強化および鯖江市への移住定住促進を図ります。

**【ここがポイント!】**

- ・移住者等への取材を実施し、インタビュー記事を掲載するほか、生活の様子がわかるページ構成を行います。また、「仕事」「住まい」「子育て」「暮らし」「支援制度」など分類ごとに整理し、移住希望者が目的の情報にアクセスしやすいサイトを構築します。

**【新規】公式ホームページリニューアル事業☆（秘書広聴課）**

若手提案・15,213千円

鯖江市公式ホームページのリニューアルにより、レイアウトの改善やAIを活用した機能強化などを行い、利用者の利便性向上を図ります。

**【ここがポイント!】**

- ・市公式ホームページを、必要な情報に迅速にアクセスできる、誰にとっても見つけやすく使いやすいサイトとすることを目指します。

**【新規】SABAE観光プロモーション事業☆（交通・にぎわい創出課）**

4,300千円

関西圏からの誘客強化のため、京都駅での観光PRやタウン誌掲載を行います。さらに、関西向けキャンペーンを実施し、本市への認知度向上と来訪促進を図ります。

**【ここがポイント!】**

- ・京都駅での観光PRにより、関西圏からの誘客とインバウンド効果を狙う取り組みです。
- ・関西のタウン誌等に観光地やふるさと納税を掲載し、鯖江市の認知度向上を図ります。

**【新規】インバウンド観光事業☆（交通・にぎわい創出課）**

800千円

インバウンド需要の拡大に対応するため、外国人観光客の視点を取り入れた新たな魅力の発掘、または既存サービスの改善を図ります。

**【ここがポイント!】**

- ・県内在住の外国人モニターツアーを開催し、鯖江市のインバウンド事業を検証します。
- ・外国人の意見収集・分析によるサービス改善を検討します。
- ・インバウンド向け広報・PR活動を実施します。

**【新規】つつじプロジェクト事業☆（土木課）**

5,500千円

「つつじのまち・鯖江」としての魅力を内外に発信するため市内道路にツツジを植栽します。

**【ここがポイント!】**

- ・西山公園だけでなく、市内の主要アクセス道路などに「ツツジ」を植栽することで、「つつじのまち・鯖江」としての魅力を内外に発信し、市民や来訪者に愛される街を目指します。

## 【新規】さばえのWAベンチ事業☆（公園住宅課）

若手提案・3,435千円

西山公園の結びの広場に本市のマスコットの存在であるレッサーパンダをモチーフにしたベンチを新たに設置します。

### 『ここがポイント！』

- ・人と人が自然につながり、ゆったりと過ごせる憩いの空間づくりを進めます。
- ・レッサーパンダをあしらったデザインで、子どもから大人まで楽しめる公園の魅力アップにつなげます。

## 2

### 『物価高騰対策』



生活必需品やエネルギー価格の上昇が続く中、市民生活や地域経済への影響を緩和するため、物価高騰対策として、効果的な支援を実施します。

## 【継続】保育所・幼稚園給食費支援事業☆（保育・幼児教育課）（再掲）

14,493千円

令和8年度も引き続き、次の負担軽減策を実施します。

私立保育所などに通う3歳以上のお子さんには、年間1万2千円を補助、公立保育所などの給食費については、年間1万2千円減額を行い、保護者の皆様の経済的負担を軽減します。

- ・副食費保護者負担軽減事業（私立保育所）9,600千円
- ・副食費保護者負担軽減事業（幼稚園）506千円
- ・公立保育所の保護者実費負担 歳入減 △4,387千円

## 【新規】学校給食支援事業☆（学校教育課）（再掲）

286,968千円

「心身の健全な発達」「食生活の改善」「食育の推進」を目的として小学校においては給食費の完全無償化を実施し、中学校においては物価高騰・人件費高騰のなか、保護者負担額を令和7年度と同額に据え置き、保護者の負担軽減を図り、子育てを支援します。

- ・学校給食費補助事業（学校教育課）253,968千円
- ・中学校の保護者実費負担 歳入減 △33,000千円

### 『令和7年度からの繰越事業』

#### 【物価高騰対策事業】

計830,975千円

#### 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金対象事業】

#### 【繰越】19歳以上の市民への給付金給付事業☆（総合政策課・長寿福祉課）

710,003千円

物価高騰の影響を受けた生活者への支援として、19歳～64歳の市民には一人当たり1万円分のデジタル通貨、65歳以上の市民には一人当たり現金1万5千円の給付を行います。

#### 【繰越】非課税世帯に対する給付金給付事業☆（社会福祉課） 44,000千円

物価高騰に最も切実に苦しんでいる令和7年度住民税非課税世帯への支援として、1世帯当たり1万円（現金）の給付を行います。

#### 【繰越】地域コミュニティ省エネ化推進事業☆（市民主役推進課） 16,200千円

温室効果ガスの排出抑制及びエネルギーの消費削減並びに物価高騰による負担軽減のため、市内各町内公民館の照明器具のLED化、省エネ空調機器取替等に係る費用を支援します。

**【繰越】生産性向上設備等導入支援補助☆（産業振興課）** 60,000千円  
先端設備等導入計画の認定を受けた事業者の設備導入経費の一部を補助し、労働生産性の向上と賃金引き上げを可能とする環境を整備します。

**【繰越】地域公共交通燃料価格高騰対策支援☆（交通・にぎわい創出課）** 772千円  
社会インフラとしての鉄道運行を維持するため、福井鉄道運行事業者に対し、令和3年度からの電気料金高騰分の支援を行います。

### 3 『ファーストペンギン事業』 + 『若手提案』



天敵がいるかもしれない海へ最初に飛び込む“果敢なペンギン”になぞらえた「ファーストペンギン」枠を継続し、前例の少ない新たな挑戦や、地域課題の解決に挑む取組を後押しします。

あわせて、若手職員による自由で柔軟な発想を行政運営に活かす「若手提案」制度を推進し、『挑戦できるまちさばえ』をさらに育み、組織内に新しい価値を生み出す好循環の形成を目指します。

#### **【新規】公式ホームページリニューアル事業☆（秘書広聴課）（再掲）**

**若手提案・15,213千円**

鯖江市公式ホームページのリニューアルにより、レイアウトの改善やAIを活用した機能強化などを行い、利用者の利便性向上を図ります。

##### **『ここがポイント！』**

- ・市公式ホームページを、必要な情報に迅速にアクセスできる、誰にとっても見つけやすく使いやすいサイトとすることを目指します。

#### **【拡充】消費トラブル防止啓発事業☆（ダイバーシティ推進・相談課）**

**若手提案・6,600千円**

特殊詐欺などのトラブルに遭いやすい高齢者等に対し、日常的に目にするカレンダーを通じて注意喚起を行います。

##### **『ここが拡充ポイント！』**

- ・毎日目にするカレンダーに気を付けるためのキーワードを盛り込むことで注意喚起につなげます。
- ・カレンダーは日めくりとし、月の部分12枚と日にちの部分31枚を組み合わせ、特定の月や日には、特に注意して欲しいことを表記することで、効果的な注意喚起につなげます。

#### **【新規】災害時サポートガイドブック作成事業☆（防災危機管理課）（再掲）**

**若手提案・15,500千円**

防災気象情報の見直しや地域防災計画の改定などを踏まえ、サポートガイドブックの情報を最新の内容に更新します。より見やすく、分かりやすい内容とし、自宅の位置などを表示できるシールを添付することで、家庭で防災について考える機会を増やし、市民の防災意識の向上を図ります。

#### **【新規】AIごみ分別導入事業☆（環境政策課）（再掲）**

**2,981千円**

ごみ分別の適正化と市民の利便性向上を目的に、スマートフォンで撮影したごみ画像から、AIが分別区分を判定する仕組みを導入します。

##### **『ここがポイント！』**

- ・ごみ分別を適正に行うことで、ごみの減量、資源化率の向上を図ります。

**【新規】 めがねのまちさばえ未来ビジネスチャレンジ事業☆（産業振興課）（再掲）**

**3,020千円**

市内企業や創業予定者の新たな挑戦を公募し、ビジネスコンテスト形式で評価・支援します。受賞者には、賞金（事業化資金）とよろず支援拠点等による伴走支援を行い、新商品・サービス開発・販路拡大・ビジネスモデル構築等を後押しします。

**【ここがポイント！】**

- ・資金支援と専門家伴走を組み合わせることで挑戦を事業化まで導きます。
- ・公募・審査・成果発表を通じ、挑戦を「見える化」します。

**【新規】 さばえのWAベンチ事業☆（公園住宅課）（再掲）**

**若手提案・3,435千円**

西山公園の結びの広場に本市のマスコットの存在であるレッサーパンダをモチーフにしたベンチを新たに設置します。

**【ここがポイント！】**

- ・人と人が自然につながり、ゆったりと過ごせる憩いの空間づくりを進めます。
- ・レッサーパンダをあしらったデザインで、子どもから大人まで楽しめる公園の魅力アップにつなげます。

**【新規】 AI×衛星で漏水ゼロ戦略事業☆（上下水道課）（再掲）**

**7,300千円**

市内全域を対象に、衛星画像・土壌・管路情報をAIで解析し、漏水リスクを5段階でメッシュ表示し可視化します。この結果を活用し、早期発見と更新計画を最適化し、効率的で持続可能な水道施設の維持管理を実現します。

**【ここがポイント！】**

- ・県内初導入で、従来手法を超える効果として、調査期間40%削減、費用55%削減、漏水発見効率6倍の効果が期待できます。

**【統合】 まちづくりプレイヤースクール事業☆（市民主役推進課）（再掲）**

**6,100千円**

地域で活動したいと考える人が一步を踏み出すきっかけを得る「まちづくりプレイヤースクール」を開校します。今後も「市民主役のまち」のトップランナーであり続けるために、地域で活躍するプレイヤーが自ら企画を立ち上げ、事業の成功および自走化、さらには収益化が実現できるまちづくりプレイヤーの育成支援を実施します。

**【継続】 市民参加型デジタルプラットフォーム☆（市民主役推進課）**

**750千円**

市民活動の見える化と市民の声を政策に反映させるデジタルプラットフォームを整備します。

## 公共施設の整備・長寿命化改修等

鯖江市の公共施設の多くは、昭和53年から61年をピークに建設されており、全体の6割以上が築30年以上を経過していることから、計画的な整備・改修が必要です。

令和8年度の当初予算では、下記の公共施設の整備・長寿命化改修等を予定しています。

### 《 3月補正 》

#### 学校施設 1,091,837千円

**小学校改修（中河、立待）（教育政策課） 35,370千円**  
中河小学校屋内運動場の照明器具および立待小学校の空調設備の改修を行います。

**中学校改修（鯖江、中央、東陽）（教育政策課） 1,056,467千円**  
令和6年度から実施している鯖江中学校校舎の内外壁、エレベータ、トイレバリアフリー、屋根等の改修工事が完了します。また、中央中学校、東陽中学校の校舎照明器具の改修も行います。

#### 社会教育施設 20,300千円

**中河公民館改修（生涯学習課） 20,300千円**  
老朽化した既存照明器具を、LED照明器具へ改修します。

#### 複合施設 1,327,390千円

**複合交流施設整備（総合政策課） 1,227,390千円**  
築41年が経過した嚮陽会館の大規模改修を行い、既存のホールの活用に加えて屋内子ども遊び場の新設や市民活動交流センターの移転統合を行い、多世代が集う交流拠点として再整備します。

**嚮陽会館駐車場整備（公園住宅課） 100,000千円**  
嚮陽会館の複合化整備に併せ、利用者の利便性・安全性向上を図るため駐車場の整備を行います。

#### 保育・幼児・児童施設 711,334千円

**神明地区公立認定こども園整備（保育・幼児教育課） 537,865千円**  
築42年の神明幼稚園と築44年の神明保育所を統合し、一貫した教育・保育を提供することができるこども園を整備することで、子育て環境を充実させます。  
（工事予定期間 令和8年～10年度）

**曲木児童センター大規模改修（こどもまんなか課） 117,869千円**  
児童の受入環境整備のため、防水、外壁、トイレ等を改修し、安心・安全な児童センターとして再整備します。

**保育所・こども園照明器具改修（保育・幼児教育課） 26,600千円**  
保育、幼児教育施設の照明器具のLED化を行います。  
（対象園：せきいんこども園、中河保育所、ゆたかこども園）

**立待保育所調理室改修（保育・幼児教育課） 29,000千円**  
子どもたちへの安心安全な食事を提供するため、老朽化している調理室の改修を行います。

**学校施設****534,576千円**

**鯖江中学校体育館・武道館の長寿命化改修（教育政策課）** 511,630千円  
体育館・武道館の内外壁等の改修を行います。令和8年度完成予定です。

**豊小学校グラウンド拡張工事（教育政策課）** 22,946千円  
グラウンドを拡張し、安全で快適な教育環境を確保します。

**観光施設****2,058千円**

**案内標識等改修事業（産業振興課）（再掲）** 2,058千円  
主要道路における本市産業拠点施設の誘導看板・案内表記を統一することで、初めて鯖江を訪れる方でも安心して市内を回遊できる環境を整えます。

**社会教育施設****43,900千円**

**夢みらい館・さばえ改修（ダイバーシティ推進・相談課）** 43,900千円  
老朽化した昇降機を改修します。

**体育施設****675,036千円**

**市民プール大規模改修（スポーツ課）** 392,720千円  
令和7年～8年度にかけて25mプール・幼児用プールを整備します。

**立待体育館改修（スポーツ課）** 252,000千円  
特定天井の改修とアリーナ照明のLED化を行い、併せて空調整備の設置により利用者の安全確保と練習環境の向上を図ります。

**尾花キャンプ場解体（スポーツ課）** 30,316千円  
尾花キャンプ場を令和7年度末で閉鎖するため、借地であるキャンプ場用地を原状復帰します。

**文化施設****361,600千円**

**文化センター舞台機構・照明・音響設備改修（文化課）** 361,600千円  
舞台機構、照明設備、音響設備について、必要な設備や機器を整備します。

**文化施設（文化財）****131,423千円**

**旧瓜生家住宅保存修理（文化課）** 131,423千円  
令和7年～9年度にかけて経年劣化による屋根の葺替えのほか、建物の歪みや沈下が生じている建物本体の修理工事を行います。今年度は、主に屋根等の修理工事費用を見込んでいます。

## ～ 今後に向けて ～

### 公共施設等総合管理計画 11,847千円

**公共施設等総合管理計画改定事業（施設管理課）（再掲）** 11,847千円  
人口減少や少子高齢化による社会構造の変化や市民ニーズの変容に的確に対処することが求められる公共サービスにおいて、そのサービス拠点となる公共施設の維持・整備マネジメントサイクルを計画します。

### 庁舎 54,100千円

**市庁舎非常用電源等整備事業（防災危機管理課）（再掲）** 17,600千円  
大規模災害時に備え、市庁舎で72時間連続して防災拠点の機能を維持するため、新館に非常用発電機を整備するなど、新館への防災拠点移設に向けた実施設計業務を行います。

**サーバ移設および庁内LAN再構築事業（デジタル推進課）（再掲）** 36,500千円  
市庁舎非常用電源等整備事業に併せて、停電時を含む災害時においてもネットワークを安定的に維持するためのサーバ移設および庁内LAN再構築に係る設計業務を行います。

### 保育・幼児・児童施設 7,321千円

**柳町児童センター改修（実施設計）（こどもまんなか課）** 7,321千円  
児童の受入環境整備のため、防水、外壁、トイレ等の改修に向けた実施設計を行います。

### 学校施設 26,068千円

**市内小学校空調整備（教育政策課）** 16,102千円  
教育環境改善のため、小学校計4校（惜陰、鯖江東、立待および吉川）の体育館に空調設備を導入するための実施設計を行います。

**小学校施設の耐力度調査（教育政策課）** 9,966千円  
鯖江東小学校の長寿命化改修に向けた耐力度調査を行います。

### 市営住宅 7,216千円

**鯖江市公営住宅等長寿命化計画改定（公園住宅課）** 7,216千円  
令和2年度に策定した鯖江市公営住宅等長寿命化計画を、近年の住宅需要の変化を踏まえ、費用対効果を考慮した計画へと改定を行い、良質な住宅ストックの持続的な活用を推進します。

### 社会教育施設 23,800千円

**吉川公民館大規模改修（生涯学習課）** 23,800千円  
旧吉川公民館解体、新倉庫建設、吉川公民館本館大規模改修に向けた実施設計を行います。

## 一般会計歳出(目的別)の状況

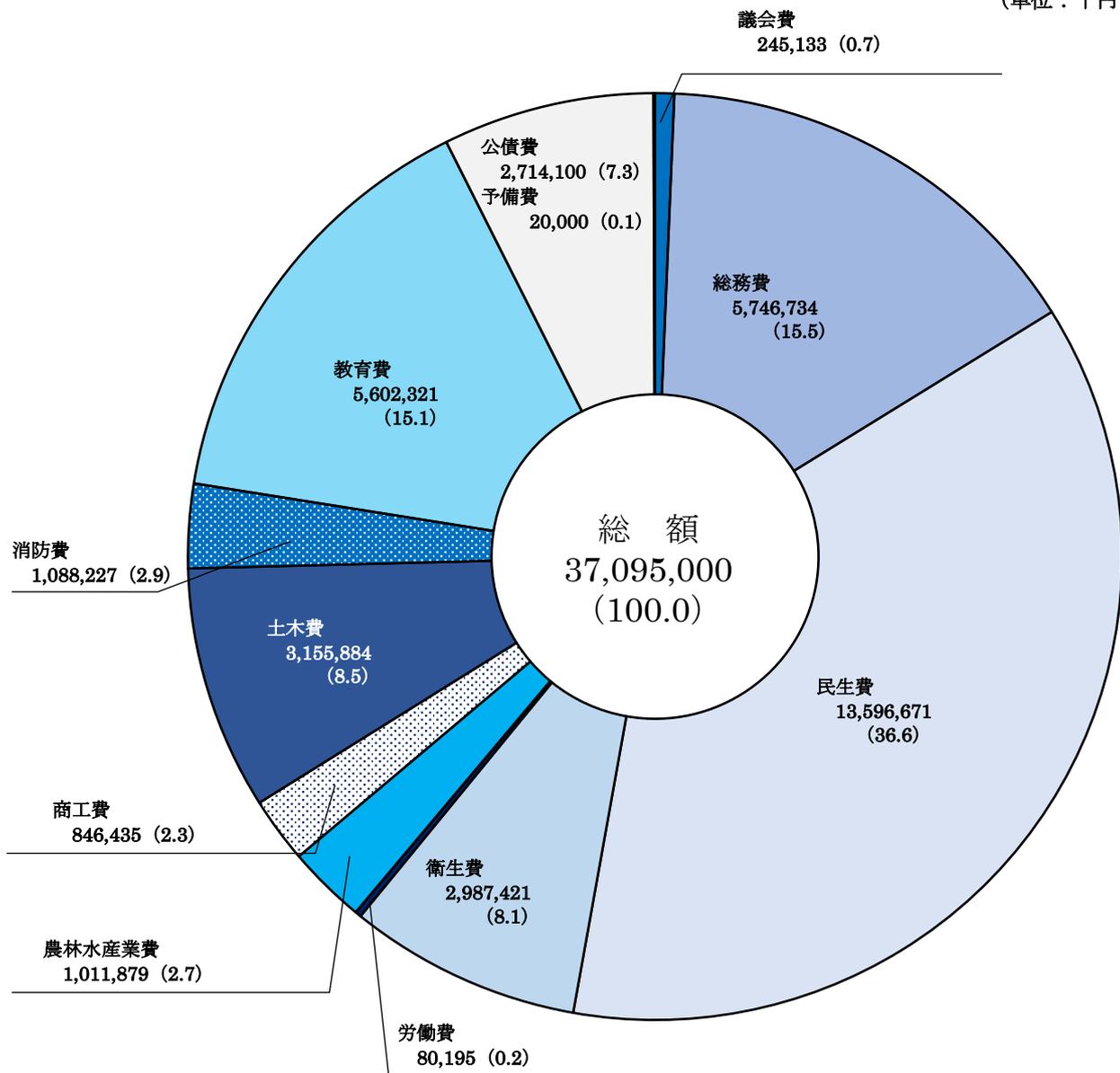
## (1) 目的別内訳

(単位：千円・%)

区 分	令和8年度		令和7年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
議 会 費	245,133	0.7	247,580	0.7	△2,447	△1.0
総 務 費	5,746,734	15.5	4,682,693	13.7	1,064,041	22.7
民 生 費	13,596,671	36.6	13,171,227	38.4	425,444	3.2
衛 生 費	2,987,421	8.1	2,928,305	8.5	59,116	2.0
労 働 費	80,195	0.2	71,067	0.2	9,128	12.8
農 林 水 産 業 費	1,011,879	2.7	1,039,128	3.0	△27,249	△2.6
商 工 費	846,435	2.3	1,105,121	3.2	△258,686	△23.4
土 木 費	3,155,884	8.5	2,906,499	8.5	249,385	8.6
消 防 費	1,088,227	2.9	953,413	2.8	134,814	14.1
教 育 費	5,602,321	15.1	4,462,241	13.0	1,140,080	25.5
公 債 費	2,714,100	7.3	2,709,726	7.9	4,374	0.2
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	37,095,000	100.0	34,297,000	100.0	2,798,000	8.2

## (2) 歳出予算目的別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



## (3) 目的別の概要

一般会計の歳出の内訳を目的別にみると、複合交流施設整備事業費やふるさと納税推進事業費の増等により総務費が、保育所施設整備費や生活保護扶助費の増等により民生費が、文化センター施設整備費の増等により教育費がそれぞれ増加しました。

一方、地域交流センター施設整備費の皆減により商工費が減少しました。

## (4) 目的別の状況

- ① 議会費
  - ・ 議員報酬 159,789千円 → 158,217千円 (△1,572千円)
- ② 総務費
  - ・ 複合交流施設整備事業費 86,910千円 → 1,227,390千円 (1,140,480千円)
  - ・ ふるさと納税推進事業費 900,000千円 → 1,100,000千円 (200,000千円)
  - ・ 退職手当費 46,381千円 → 116,563千円 (70,182千円)

・定額減税補足給付金給付事業費	220,687千円→	0千円	(△220,687千円)
・福井県丹南広域組合負担金	506,370千円→	225,980千円	(△280,390千円)
③ 民生費			
・保育所施設整備費	315,359千円→	593,465千円	( 278,106千円)
・生活保護扶助費	280,000千円→	404,834千円	( 124,834千円)
・施設生活支援事業費	1,650,000千円→	1,746,363千円	( 96,373千円)
・児童手当	1,741,500千円→	1,608,400千円	(△133,100千円)
・ケアハウス施設整備費	202,600千円→	0千円	(△202,600千円)
④ 衛生費			
・広域衛生施設組合負担金	975,292千円→	1,008,724千円	( 33,432千円)
・公害監視測定事務諸経費	27,954千円→	57,335千円	( 29,381千円)
・環境教育支援センター施設維持補修費	3,625千円→	31,000千円	( 27,375千円)
・公立丹南病院組合負担金	272,200千円→	297,900千円	( 25,700千円)
・予防接種費	327,778千円→	287,849千円	( △39,929千円)
⑤ 労働費			
・労働者生活安定資金等預託	24,693千円→	30,218千円	( 5,525千円)
⑥ 農林水産業費			
・土地改良事業費(県補助)	85,500千円→	165,500千円	( 80,000千円)
・森林環境譲与税基金積立金	0千円→	11,728千円	( 11,728千円)
・水田農業促進事業費	39,914千円→	20,358千円	( △19,556千円)
・県営事業負担金	150,917千円→	95,553千円	( △55,364千円)
⑦ 商工費			
・中小企業資金等預託金	262,449千円→	369,092千円	( 106,643千円)
・地方の元気再生事業費	65,500千円→	0千円	( △65,500千円)
・地域交流センター施設整備費	293,395千円→	0千円	(△293,395千円)
⑧ 土木費			
・道路除雪費	356,428千円→	428,351千円	( 71,923千円)
・公園整備事業費(単独)	71,584千円→	133,835千円	( 62,251千円)
・社会資本整備総合交付金事業費	410,110千円→	461,210千円	( 51,100千円)
・住宅施設維持補修費	63,889千円→	37,274千円	( △26,615千円)
⑨ 消防費			
・消防組合負担金	946,160千円→	1,080,757千円	( 134,597千円)
⑩ 教育費			
・文化センター施設整備費	3,300千円→	361,600千円	( 358,300千円)
・学校給食費(小学校)	0千円→	280,978千円	( 280,978千円)
・小学校施設管理諸経費(学校教育課)	89,756千円→	366,539千円	( 276,783千円)
・体育施設整備費(補助)	578,100千円→	358,580千円	(△219,520千円)
・公民館施設整備費	398,714千円→	25,010千円	(△373,704千円)
⑪ 公債費			
・市債定時償還利子	153,486千円→	221,447千円	( 67,961千円)
・市債定時償還元金	2,553,797千円→	2,490,211千円	( △63,586千円)

# 一般会計歳出(性質別)の状況

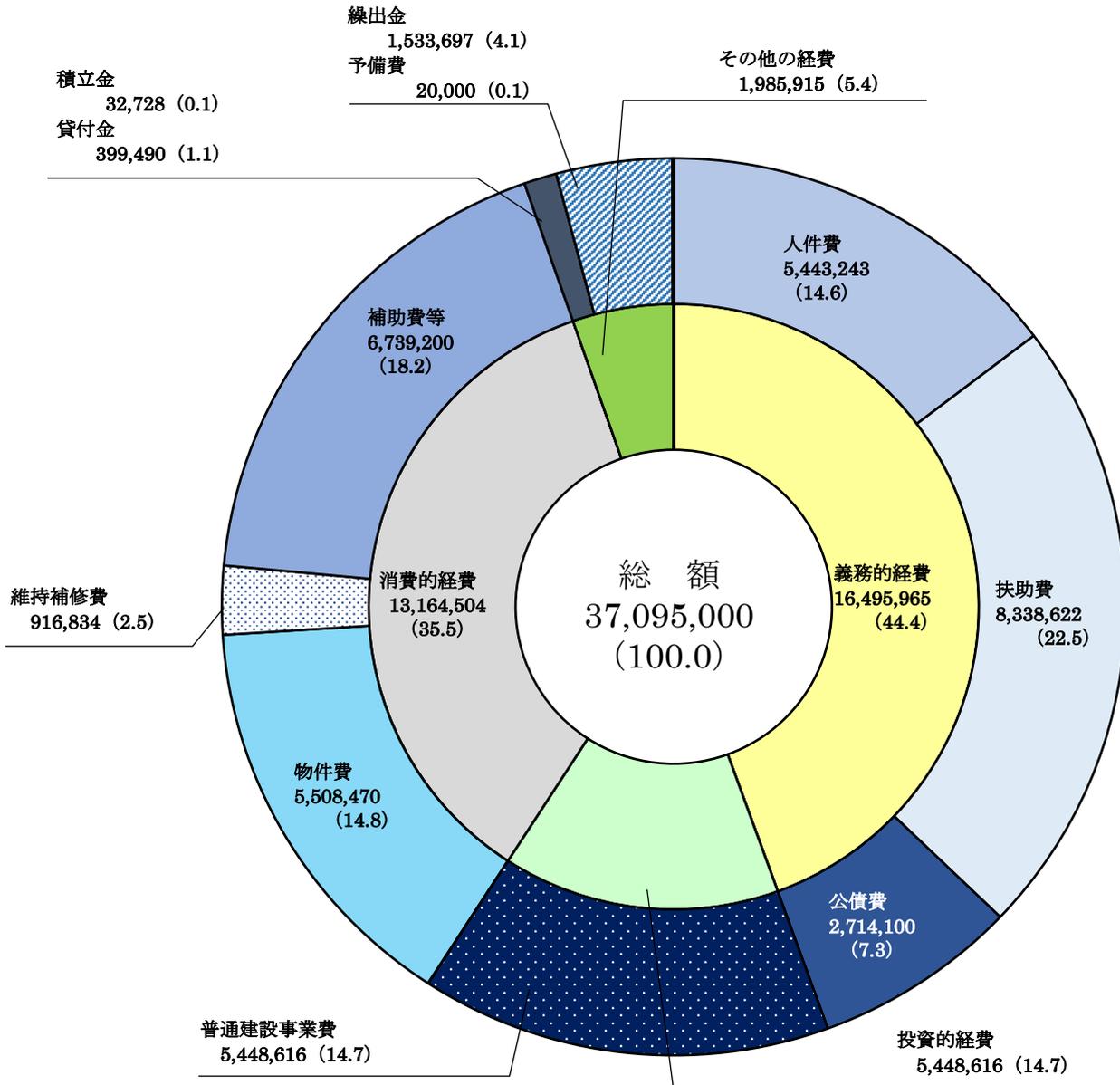
## (1) 性質別内訳

(単位：千円・%)

区 分	令和8年度		令和7年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
人 件 費	5,443,243	14.6	4,991,345	14.6	451,898	9.1
物 件 費	5,508,470	14.8	4,539,263	13.2	969,207	21.4
維 持 補 修 費	916,834	2.5	888,132	2.6	28,702	3.2
扶 助 費	8,338,622	22.5	8,141,003	23.7	197,619	2.4
補 助 費 等	6,739,200	18.2	7,037,981	20.5	△298,781	△4.2
うち一部事務組合 負担金	3,511,913	9.5	3,559,966	10.4	△48,053	△1.3
公 債 費	2,714,100	7.3	2,709,726	7.9	4,374	0.2
普通建設事業費	5,448,616	14.7	4,115,793	12.0	1,332,823	32.4
補助事業	3,332,881	9.0	1,608,167	4.7	1,724,714	107.2
単独事業	1,937,005	5.2	2,266,819	6.6	△329,814	△14.5
県営事業負担金	178,730	0.5	240,807	0.7	△62,077	△25.8
国直轄事業負担金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
積 立 金	32,728	0.1	29,500	0.1	3,228	10.9
貸 付 金	399,490	1.1	287,682	0.8	111,808	38.9
繰 出 金	1,533,697	4.1	1,536,575	4.5	△2,878	△0.2
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	37,095,000	100.0	34,297,000	100.0	2,798,000	8.2

## (2) 歳出予算性質別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



### (3) 性質別の概要

一般会計の歳出の内訳を性質別にみると、義務的経費では生活保護扶助費や施設生活支援事業費など扶助費の増、職員数の増等による人件費の増により、前年度当初予算と比較して6億5,389万円余、4.1%の増となりました。

投資的経費は、複合交流施設整備事業費の増等により、前年度と比較して13億3,282万円余、32.4%の増となりました。

その他の経費は、学校給食支援事業費等の増により、前年度と比較して8億1,128万円余、5.7%の増となりました。

### (4) 性質別の状況

(単位：千円・%)

区 分	令和8年度 (A)		令和7年度 (B)		比 較 (A) - (B)	伸 率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1 人 件 費	5,443,243	14.6	4,991,345	14.6	451,898	9.1
2 扶 助 費	8,338,622	22.5	8,141,003	23.7	197,619	2.4
3 公 債 費	2,714,100	7.3	2,709,726	7.9	4,374	0.2
義務的経費計	16,495,965	44.4	15,842,074	46.2	653,891	4.1
投資的経費 (普通建設事業費等)	5,448,616	14.7	4,115,793	12.0	1,332,823	32.4
その他の経費 (物件費等)	15,150,419	40.9	14,339,133	41.8	811,286	5.7
合 計	37,095,000	100.0	34,297,000	100.0	2,798,000	8.2

#### ① 人件費

【会計年度任用職員以外の職員等】 (正規職員、特別職、議員等) (単位：千円・%)

区 分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
人件費(一般会計)	3,409,446	3,120,978	288,468	9.2
人件費(全会計)	3,696,191	3,364,856	331,335	9.8
うち退職手当 (退職見込数)	106,016 (5人)	38,273 (3人)	67,743	177.0
退職手当を除いた人件費	3,590,175	3,326,583	263,592	7.9

【会計年度任用職員】

区 分	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
人件費(一般会計)	2,033,797	1,870,367	163,430	8.7
人件費(全会計)	2,062,764	1,903,993	158,771	8.3

[職員数]

区 分	正規職員 (特別職を含む)			会計年度任用職員		
	令和8年度	令和7年度	増減数	令和8年度	令和7年度	増減数
一般会計	419人	405人	14人	614人	597人	17人
特別会計	18人	18人	0人	7人	8人	△1人
企業会計	17人	14人	3人	0人	1人	△1人
合 計	454人	437人	17人	621人	606人	15人

② 扶助費

生活保護扶助費や施設生活支援事業費の増等により、対前年度比1億9,761万円余、2.4%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
8,338,622	8,141,003	197,619	2.4

③ 公債費

市債定時償還利子の増により、対前年度比4,374万円余、0.2%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
2,714,100	2,709,726	4,374	0.2

・市債定時償還元金 2,553,797千円 → 2,490,211千円 (△ 63,586千円)

・市債定時償還利子 153,486千円 → 221,447千円 ( 67,961千円)

④ 普通建設事業費

複合交流施設整備事業や神明地区公立認定こども園整備事業等により、対前年度比13億3,282万円余、32.4%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
5,448,616	4,115,793	1,332,823	32.4

[主な増減要因]

【補助事業】

(単位：千円)

事業名	令和8年度	令和7年度	増減額
複合交流施設整備事業	1,224,600	86,910	1,137,690
神明地区公立認定こども園整備事業	537,865	0	537,865
旧瓜生家住宅保存修理事業	131,423	33,529	97,894
鯖江中学校長寿命化改修事業	511,630	456,560	55,070
社会資本整備総合交付金事業	461,210	410,110	51,100
市民プール改修事業	358,580	469,800	△111,220

【単独事業】

(単位：千円)

事業名	令和8年度	令和7年度	増減額
文化センター施設整備事業	361,600	3,300	358,300
地域交流センター施設整備事業	0	293,395	△293,395
豊公民館施設整備事業	0	385,700	△385,700

⑤ 物件費

小・中学校給食費の公会計化、食材費の高騰等に伴う学校給食支援事業費の増、G I G Aスクール推進事業のタブレット端末購入費用の皆増などにより、対前年度比9億6,920万円余、21.4%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
5,508,470	4,539,263	969,207	21.4

⑥ 維持補修費

夢みらい館・さばえ、環境教育支援センターの施設維持補修費の増等により、対前年度比2,870万円余、3.2%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
916,834	888,132	28,702	3.2

⑦ 補助費等

福井県丹南広域組合負担金の減等により、対前年度比2億9878万円余、4.2%の減で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
6,739,200	7,037,981	△298,781	△4.2

[主な負担金]

(単位：千円)

事業名	令和8年度	令和7年度	増減額
消防組合負担金	1,080,757	946,160	134,597
広域衛生施設組合負担金	1,025,150	1,001,209	23,941
公立丹南病院組合負担金	297,900	272,200	25,700
福井県丹南広域組合負担金	264,729	541,156	△276,427

⑧ 繰出金

国民健康保険事業特別会計への繰出金の減等により、対前年度比287万円余、0.2%の減で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
1,533,697	1,536,575	△2,878	△0.2

[主な繰出金]

(単位：千円)

会計名	令和8年度	令和7年度	増減額
国民健康保険事業特別会計への繰出金	382,835	408,713	△25,878
後期高齢者医療特別会計への繰出金	212,511	193,709	18,802
介護保険事業特別会計への繰出金	936,660	932,460	4,200

⑨ 積立金

森林環境譲与税基金積立金の増等により、対前年度比322万円余、10.9%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
32,728	29,500	3,228	10.9

⑩ 貸付金

中小企業資金等預託金の増等により、対前年度比1億1,180万円余、38.9%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
399,490	287,682	111,808	38.9

(単位：千円)

基金名	令和6年度末 現在高	令和7年度中移動		令和7年度末 見込額	令和8年度中移動		令和8年度末 見込額	
		積立額	取崩額		積立額	取崩額		
一般会計	財政調整基金	3,789,500	20,900		3,810,400	15,000		3,825,400
	減債基金	600,500	1,470	200,000	401,970	500	200,000	202,470
	公共施設等 整備基金	1,520,850	383,460	314,000	1,590,310	600	340,000	1,250,910
	温泉施設 整備基金	134,210	20,330		154,540	100		154,640
	企業版ふるさと 納税基金	500	5,600	400	5,700	3,000	2,600	6,100
	市民協働まち づくり基金	10,834		6,050	4,784		4,050	734
	安全・安心 防災基金	12,500	2,500		15,000			15,000
	福祉基金	314,310	1,780		316,090	1,500		317,590
	育てやすいまち づくり基金	200,150	500		200,650		80,000	120,650
	森林環境 譲与税基金	35,560	19,680		55,240	11,728		66,968
	ふるさと水と土 保全対策基金	11,390			11,390			11,390
	公園整備等基金	327,150	770		327,920	50		327,970
教育振興基金	312,100	740		312,840	250	260,000	53,090	
計	7,269,554	457,730	520,450	7,206,834	32,728	886,650	6,352,912	
特別会計	国民健康 保険基金	395,160	73,110	10,000	458,270	10	36,000	422,280
	介護保険基金	615,150	100	184,000	431,250	100	218,000	213,350
計	1,010,310	73,210	194,000	889,520	110	254,000	635,630	
合計	8,279,864	530,940	714,450	8,096,354	32,838	1,140,650	6,988,542	

(単位：千円)

区 分	令和6年度末 現 在 高	令和7年度末 現在高見込額	令和8年度中増減見込額 (当初予算ベース)		令和8年度末 現在高見込額
			借 入 見込額	元金償還 見 込 額	
一般会計	22,036,207	24,791,611	4,242,000	2,490,211	26,543,400
うち普通債等	13,002,792	16,671,110	4,242,000	1,615,274	19,297,836
うち臨財債	9,033,415	8,120,501	0	874,937	7,245,564
企業会計	20,076,498	19,149,857	849,240	1,874,293	18,124,804
水道事業	3,220,337	3,271,557	231,740	213,916	3,289,381
公共下水道	15,566,011	14,727,625	581,900	1,504,934	13,804,591
農業集落	1,290,150	1,150,675	35,600	155,443	1,030,832
合 計	42,112,705	43,941,468	5,091,240	4,364,504	44,668,204

## 特別会計

## (1) 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業は、国民健康保険法に基づき、市民が安心して医療を受けられるよう支え合う公的医療制度です。対象となる市民の疾病・負傷・出産・死亡に関する保険給付を主な役割としており、医療費の自己負担を軽減することで生活の安定と健康の保持を図っています。運営財源は、加入者が負担する国民健康保険税のほか、国・県からの国庫支出金や補助金、市からの繰入金などで構成され、これらを組み合わせることで事業運営の安定化を図っています。また、高齢化の進展や医療需要の増加に対応し、持続可能な制度運営と負担の公平性を確保することも重要な目的です。

市では、医療費適正化や加入者の健康づくり施策にも取り組みながら、市民の生活に密着した保険制度として機能させています。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
5,683,000	5,682,000	1,000	0.0

保険給付費等の増により、予算額が増加しました。

## (2) 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療事業は、75歳以上の方（または65～74歳で一定の障がいのある方）を対象とした公的医療制度で、高齢者が安心して必要な医療を受けられるよう支え合う仕組みです。制度の運営主体は福井県後期高齢者医療広域連合で、市は被保険者の窓口業務や保険料の徴収などを担当します。保険料は、個人単位で算定される「所得割額」と、加入者が均等に負担する「均等割額」で構成され、所得や世帯状況によって負担が変わります。また、医療機関での窓口負担は所得などに応じて1～3割とされていますが、運営財源は国・県・市からの公費および現役世代からの支援金が多くを占めており、保険料や医療費負担の過度の増大を防ぐ仕組みが整備されています。

市では、これらの制度を通じ、超高齢社会における高齢者の健康維持と生活の安定を支える役割を果たしています。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
1,333,000	1,088,000	245,000	22.5

後期高齢者医療広域連合納付金の増により、予算額が増加しました。

## (3) 介護保険事業特別会計

介護保険事業は、高齢者が必要な介護サービスを安心して利用できるように支える公的制度です。介護が必要となった高齢者の自立支援と生活の安定を目的としており、訪問介護や通所介護、施設サービスなどの給付を行います。財源は、被保険者が負担する介護保険料のほか、国・県・市の負担金や補助金などで構成され、これらを組み合わせることで制度運営の安定化を図っています。

市では、介護予防や生活支援、地域包括ケアの推進などを通じて、住み慣れた地域で暮らし続けられる体制づくりを進めています。また、増加する高齢者の多様な介護ニーズに対応するため、持続可能な制度運営と負担の公平性の確保を重要課題として取り組みを進めています。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
6,370,000	6,261,200	108,800	1.7

保険給付費等の増により、予算額が増加しました。

## 企業会計

### (1) 水道事業会計

水道事業は、安全・安心な水道水を安定して供給することを目的とし、水質管理の徹底、水道施設の適切な維持管理に取り組んでいます。さらに、地震などの災害に備え、災害に強い施設の整備を行っています。

水源については、自己水源に加え、榊谷ダムを主な水源とした、福井県が事業主体の日野川地区水道用水供給事業より受水し、良質で安定した水道水の確保に努めています。

市では、人口減少や節水機器の普及により料金収入の伸びが見込みにくい中でも将来にわたり、持続可能な水道事業を実現するため、施設の計画的な更新と経営の効率化・健全化による事業基盤の強化を実施してまいります。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
2,326,300	2,232,200	94,100	4.2

送水・配水ポンプ維持修繕工事費等の増により、予算額が増加しました。

### (2) 公共下水道事業会計

公共下水道事業は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を目的に、日野川から東側の地域を対象に、昭和48年から事業に着手し、鯖江地区、神明地区、立待地区の一部、新横江地区、中河地区、片上地区の一部、北中山地区の一部、および、河和田地区の一部から排水される汚水を終末処理場（鯖江市環境衛生センター）に集めて、処理を行っています。

さらに、近年増加する局地的豪雨への対策として、浸水被害のない街づくりを目指し、雨水幹線および雨水支線の整備を行っています。

市では、人口減少や節水機器の普及により使用料収入の伸びが見込みにくい中でも、老朽化した施設の更新や維持管理を計画的に進めるため、長期的な視点で効率的な事業運営を行い、快適な生活環境を支える持続可能な下水道事業の提供を実施してまいります。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
4,729,300	4,130,200	599,100	14.5

処理場整備費等の増により、予算額が増加しました。

### (3) 農業集落排水事業会計

農業集落排水事業は、農業集落の環境改善、農業用排水等の水質保全、集落におけるし尿・生活排水などの汚水処理を目的に、日野川から西側の地域を対象に昭和62年から事業に着手し、立待地区、豊地区、吉川地区、豊西地区、日野川西地区、および、吉川東地区の6つの処理区域として、それぞれの区域内にある処理施設で汚水処理を行っています。

市では、老朽化した施設の更新や維持管理を計画的に進めるため、長期的な視点で効率的な事業運営を行い、快適な生活環境を支える持続可能な下水道事業の提供を実施してまいります。

(単位：千円・%)

令和8年度	令和7年度	増減額	増減率
608,600	587,900	20,700	3.5

建設改良費の増により、予算額が増加しました。

# 「ウェルビーイング」とは

## 1 基本的な意味

「ウェルビーイング (Well-being)」は、直訳すると「良い状態」「幸福」を意味しますが、『政策視点として用いる「ウェルビーイング」』とは、単なる一時的な満足感ではなく、身体的・精神的・社会的に調和のとれた良好な状態が、日常生活の中で持続していることを指します。

世界保健機関 (WHO) では、健康を「病気がない状態ではなく、身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態」と定義していますが、ウェルビーイングは、この考え方を、個人の健康だけでなく、地域社会全体に広げた概念です。

## 2 本市が目指すウェルビーイング

本市が目指す「ウェルビーイング」とは、「市民一人ひとりが、その人らしく、健康で安心して楽しく暮らし続けられる状態」をいいます。

ウェルビーイングの視点を市政に取り入れることで、次のような効果を生み出す施策の立案を目指します。

- (1) 暮らしの中に楽しみと居場所があることによる若者・子育て世代の定住促進
- (2) 市民が趣味や学び、文化・スポーツ等を通じて日常の「楽しさ」や「充実感」を実感できることによる市民満足度の向上
- (3) 生涯にわたり社会参加や余暇活動を楽しむことによる健康寿命の延伸と医療費抑制
- (4) 共通の興味・関心を通じた人のつながりによる地域コミュニティの活性化